

採用と大学改革への期待に関するアンケート

【別冊】

「組織対組織」による
産学連携の取組事例集

2022年1月18日

一般社団法人 日本経済団体連合会

「組織対組織」による産学連携の取組事例集 概要

1. 実施概要：「採用と大学改革への期待に関するアンケート」の一部として実施

- (1) 調査対象：経団連全会員企業（1,480社）
各都道府県の地方別経済団体に加盟する経団連非会員企業
- (2) 調査事例：「組織対組織」による産学連携の取組事例
- (3) 調査期間：2021年8月4日～10月1日

2. 「組織対組織」による産学連携の取組事例の概要

(1) 産学連携の取組事例（全体）

◇「組織対組織」による産学連携の事例（1社あたり最大5事例）として、177社から336事例寄せられ、うち公開可能事例は82社164事例

(2) 事業の類型別の事例数

◇以下の7つの類型を掲げて、該当する類型に○をつけてもらったところ（複数回答可）、以下の内訳となった。

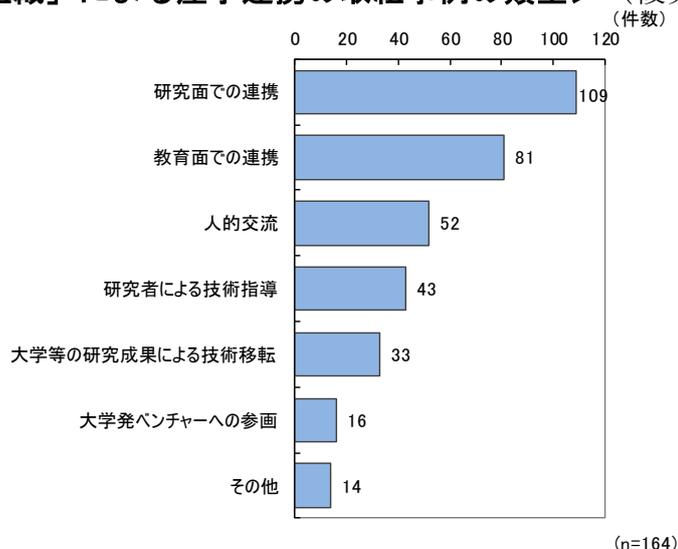
<類型>

- ◇教育面の連携 ◇研究面での連携 ◇大学等の研究成果に関する技術移転
◇研究者による技術指導 ◇大学発ベンチャーへの参画 ◇人的交流 ◇その他

<「組織対組織」による産学連携の取組事例>

		回答事例		公開可能な事例	
		企業数	事例数	企業数	事例数
合計		177社	336件	82社	164件
事業の類型	研究面での連携	127社	222件	61社	109件
	教育面での連携	99社	148件	50社	81件
	人的交流	65社	91件	34社	52件
	研究者による技術指導	45社	74件	27社	43件
	大学等の研究成果に関する技術移転	46社	69件	19社	33件
	大学発ベンチャーへの参画	22社	26件	14社	16件
	その他	17社	19件	14社	14件
地域活性化に資すると考える事例		69社	105件	41社	61件
行政も参画する事例		41社	54件	26社	32件

＜「組織対組織」による産学連携の取組事例の類型＞（複数回答可）

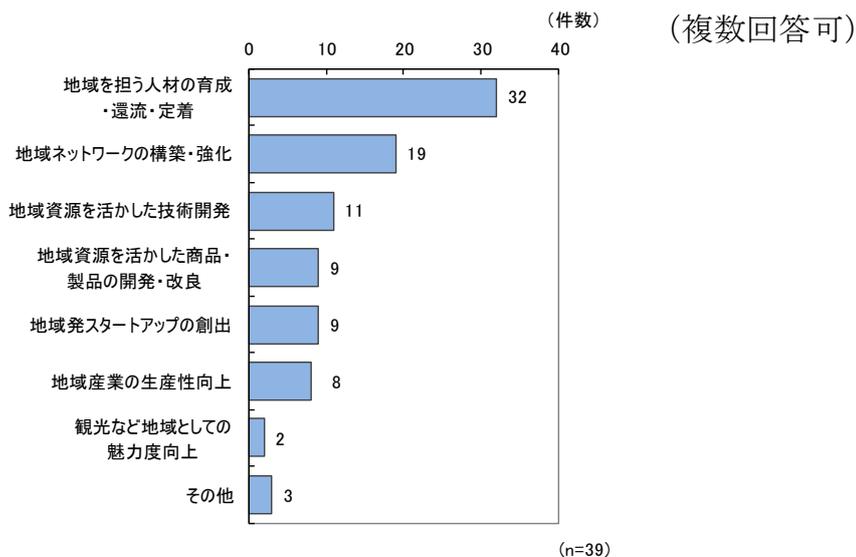


(注)「組織対組織」による産学連携であり、かつ公表可能な事例が対象

(2) 地域活性化に資すると考える事例、産学連携の効果・狙い

- ①地域活性化に資すると考える事例は、公表可能事例で61件。うち教育面での連携事例は39件。
- ②「組織対組織」による教育面での産学連携であり、公表可能かつ地域活性化に資すると考える事例の効果・狙いとして、「地域を担う人材の育成・還流・定着」(32事例)が最も多く、次いで「地域ネットワークの構築・強化」(19事例)も多かった。

＜地域活性化に資すると考える教育面での連携事例の効果・狙い＞



(注)「組織対組織」による教育面での産学連携であり、公表可能かつ地域活性化に資すると考える取組みが対象

以上

I. 教育関係等

	頁
■株式会社 I H I	
1. 横浜国立大学との人工知能（AI）技術に関する共同研究講座の開設	1
2. 東北芸術工科大学との I-To Lab.（イトラボ）の設立	1
■株式会社アシックス	
3. スポーツ振興を通じた地域・社会貢献やブランドの価値向上などを目的とした組織的連携	2
■アルー株式会社	
4. STEAM 教育における学習内容・目標マップと 指導者の資質・能力マップの開発	2
■井関農機株式会社	
5. 国立大学法人愛媛大学と井関農機株式会社との間の「知能的食料生産システム」についての研究連携協定	3
■株式会社 I N P E X	
6. Project Based Learning 型授業	3
■株式会社内田洋行	
7. 先端の ICT 活用についての包括連携協定	4
■A G C 株式会社	
8. 東京工業大学との「A G C マテリアル協働研究拠点」	4
■N E C ネットエスアイ株式会社	
9. With & After コロナ時代の学習/キャンパス環境を新たに探究する	5
■愛媛トヨタ自動車株式会社	
10. 大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会	5
■株式会社オーバル	
11. インターンシップ	6
■小野薬品工業株式会社	
12. 京都大学大学院医学研究科創薬医学講座	6
■K D D I 株式会社	
13. 水産業の課題解決に向け、産学官の連携による新たな水産業モデルを構築	7
14. 長野県立大学とのイノベーション人材、起業家人材育成への取り組み	7
■株式会社小松製作所	
15. 国内 7 機関との産学連携推進包括協定の締結（それぞれの機関との個別契約）	8
16. 石川県、コマツ、早稲田大学の連携による IoT/AI 高度技術人材育成	8
17. 中国 2 大学との産学連携包括協定（それぞれの大学との個別契約）	9
18. インドネシア 2 大学との産学連携包括協定（それぞれの大学との個別契約）	9

■ J F Eスチール株式会社	
19. 九州大学鉄鋼リサーチセンター 産学連携講義	10
■塩野義製薬株式会社	
20. 下水中の新型コロナウイルスの自動解析体制構築	10
■株式会社島津製作所	
21. 大阪大学・島津 分析イノベーション協働研究所	11
■株式会社常陽銀行	
22. 常磐大学との連携講座	11
■昭和電工株式会社	
23. 機械工学ものづくりプロジェクト	12
24. 電子材料ガスを用いた微細加工技術の研究	12
■株式会社SUBARU	
25. 東京工業大学 実践AI・データサイエンス講義	13
■住友化学株式会社	
26. 固体型電池システムデザイン 産学共同講座	13
27. 廃棄物由来メタノール製造における技術開発	14
28. 廃プラスチック由来オレフィン製造における技術開発	14
29. 住友化学高度情報人材育成奨学金	15
30. 東京工業大学物質・情報卓越教育院への参画	15
■住友商事株式会社	
31. 東広島市・広島大学との包括的連携～Town & Gown 構想～	16
■住友林業株式会社	
32. 木や植物の新たな価値創造による再生循環型未来社会協創事業	16
■第一生命保険株式会社	
33. 東北大学・NTTデータとの包括連携協定	17
34. 東京理科大学との包括連携協定	17
■ダイキン工業株式会社	
35. 「空気の価値化」を目指した、人材交流型の協創連携プロジェクト	18
36. 情報科学分野を中心とした包括連携	18
37. 環境社会貢献に向けた包括連携プロジェクト	19
38. 地域密着型の医工農連携プロジェクト	19
■帝人株式会社	
39. 公益財団法人 帝人奨学会の運営	20
■株式会社電通国際情報サービス	
40. 実践型教育プログラムで生まれた学生提案を社会実装する研究プロジェクト	20

■東京海上日動火災保険株式会社	
41. データサイエンス人材育成プログラム「Data Science Hill Climb」	21
■東ソー株式会社	
42. 次世代ジルコニア創出社会連携講座	21
43. 「社会連携講座」規則性多孔体の革新的合成プロセスの構築	22
44. 生体液バイオマーカー共同研究講座	22
■株式会社東邦銀行	
45. 東邦銀行提供講座「地域金融論」	23
46. 「ふくしまで働く！しごと体感ツアー」 福島県庁×東邦銀行×東京海上日動火災保険	23
47. とうほう起業家応援相談会	24
■株式会社栃木銀行	
48. とちぎん創業塾	24
49. 創業支援にかかる事業への協力	25
50. ビジネス人材の育成に関する連携協定	25
■トヨタ自動車株式会社	
51. 未来社会工学開発研究センター Society 5.0 を実現するモビリティインフラの先端研究拠点	26
52. 名古屋大学COI (文部科学省センター・オブ・イノベーション プログラム)	26
■トヨタ紡織株式会社	
53. 生産技術開発を中心とした連携と協力に関する包括協定	27
■株式会社ニコン	
54. ニコンイメージングサイエンス寄付研究部門	27
55. 「数物フロンティア国際卓越大学院」での開講科目「社会数理実践研究」	28
■日鉄ソリューションズ株式会社	
56. 筑波大学「組み込み技術キャンパス 0JT」	28
57. 東京大学大学院理学系研究科「量子ソフトウェア」寄付講座	29
58. 東京工業大学情報理工学院サポーターズ制度「データサイエンス・ AI 特別専門学修プログラム」	29
■日本電気株式会社	
59. NEC・東京大学フューチャーAI 研究・教育戦略パートナーシップ協定	30
60. 東北主催の Grips-Sendai へ参加	30
■日本電信電話株式会社	
61. 5G (第5世代移動通信システム) の推進、「スマートシティ・スマート キャンパス」創造に関する包括連携協定 (近畿大学・NTT・NTT ドコモ・NTT西日本・NTTデータ)	31
62. テクノロジーの進化と人が調和する、新たな世界観の構築に向けて～ IOWN 時代を支える生きがい・倫理・社会制度について、京大とNTTとの 共創を開始～	31

■日本ハム株式会社	
63. 産業動物臨床実習受け入れ	32
■株式会社日本総合研究所	
64. デジタル化時代にビジネスで求められる人材育成のための産学共同講座 「情報学ビジネス実践講座」の設立	32
65. サステナビリティ人材育成プログラム「SAKI」のアカデミア向け無償版の 提供	33
■株式会社日本トリム	
66. 慢性腎臓病透析治療共同研究部門	33
■一般社団法人日本貿易会	
67. 高校生国際交流の集い	34
68. 実務家講師による講座受託	34
■日本ユニシス株式会社	
69. 長野 IT コラボレーションプラットフォーム	35
70. 未来環境ラボ	35
71. 慶應義塾大学社会人大学院生派遣プログラム	36
■野村ホールディングス株式会社	
72. 大学生に対する金融・経済教育（金融リテラシー）の推進	36
73. 金融ジェロントロジーに関する研究事業	37
■株式会社ミクニ	
74. ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）	37
■三井住友海上火災保険株式会社	
75. MS & A D デジタルアカデミー（INIAD：東洋大学情報連携学部）	38
■山田コンサルティンググループ株式会社	
76. 現場体験型インターンシップ	38
■ヤマハ発動機株式会社	
77. ヤマハ発動機・静岡大学 産学連携	39
■株式会社USEN-NEXT HOLDINGS	
78. NAGAOKA WORKER PROMOTION INTERNSHIP	39
■吉本興業ホールディングス株式会社	
79. 笑う東大、学ぶ吉本プロジェクト	40
■株式会社リンクアンドモチベーション	
80. ALL DOSHISHA 教育推進プログラム 産官学連携を中核としたキャリア形成プログラムの策定	40
81. 文部科学省『大学による地方創生人材育成教育プログラム構築事業』 地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」	41

Ⅱ. その他研究関係等

■朝日生命保険相互会社	
82. 社会連携講座「糖尿病・生活習慣病予防講座」	41
■株式会社アシックス	
83. 安全な低酸素環境下トレーニング実施のための共同研究	42
■アステラス製薬株式会社	
84. 京都大学とのアライアンス・ステーション開設	42
85. Astellas Alliance Acceleration Program: AAAP	43
■伊藤忠商事株式会社	
86. 伊藤忠商事 次世代がん治療研究講座	43
■株式会社岩田商会	
87. シクロデキストリンにおけるA剤の包接挙動の解析	44
■株式会社INPEX	
88. 潮汐を利用した貯留層モニタリング手法に関する国際連携研究	44
89. 堆積ダイナミクス研究コンソーシアム	45
■株式会社内田洋行	
90. 説明できるAIの基盤技術開発	45
■エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社	
91. 三者協力による都市型集住環境の再構築をめざした共同研究	46
■小野薬品工業株式会社	
92. 免疫炎症性難病創薬コンソーシアム	46
93. 全ゲノム情報と医療・健康情報の統合解析コンソーシアム	47
■兼松株式会社	
94. 大学発ベンチャーキャピタルのウエルインベストメントとの業務提携	47
95. データ取引市場の形成	48
■キオクシア株式会社	
96. 研究だけでなく、人材育成も包括的に網羅した「包括連携」	48
97. 公募型の研究助成金プログラム「キオクシア奨励研究」	49
■株式会社紀陽銀行	
98. 高野山観光ビッグデータを活用した共同研究	49
■京浜急行電鉄株式会社	
99. Universal MaaSの社会実装に向けた連携	50
■JSR株式会社	
100. JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター	50
■JX石油開発株式会社	
101. 東京大学とのデジタルオイル技術に関する研究	51

102. テキサス大学オースティン校とのケミカル（界面活性剤）を利用した石油増進回収に関する委託研究	51
■塩野義製薬株式会社	
103. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のワクチン開発に関する研究	52
104. 新型コロナウイルス IgG/IgM 抗体検査キット製品の導入	52
105. 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）を含むウイルスの新規迅速診断法に関するライセンス契約	53
106. 抗マラリア薬の創製を目指した共同研究	53
■株式会社島津製作所	
107. （国研）農研機構島津製作所・食品機能性解析共同研究ラボ	54
108. 食の安全・安心と健康のための技術連携	54
■株式会社常陽銀行	
109. 茨城大学との共同研究プロジェクト「Joint 結」	55
110. ビジネスプランコンテスト・めぶきビジネスアワード	55
■昭和電工株式会社	
111. 真空蒸着が可能なフラーレン誘導体の開発	56
112. 各種材料の潤滑剤としての実用化のための技術的課題の明確化に関する共同研究	56
■株式会社SUBARU	
113. 次世代自動車技術研究講座	57
■住友精化株式会社	
114. 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 戦略的省エネルギー技術革新プログラム／テーマ設定型事業者連携スキーム ／電力機器用革新的機能性絶縁材料の技術開発	57
■住友生命保険相互会社	
115. 健康増進に関わる共同研究	58
■積水化学工業株式会社	
116. 自然に学ぶものづくり研究助成プログラム	58
■ダイキン工業株式会社	
117. 中国における社会課題解決型の包括連携	59
■大陽日酸株式会社	
118. β 型酸化ガリウム結晶の有機金属気相成長に関する共同研究	59
119. 安定同位体標識アミノ酸の製品開発強化	60
■中央日本土地建物株式会社	
120. ゆるぎの里“きさわ” 里山ワークショッブ	60
■中外製薬(株)	
121. 先端的な免疫学研究活動に関わる包括連携	61
122. 神経・免疫・代謝制御因子群を標的とした免疫難病・がん治療法の開発	61

123. ヒト免疫系の機能ゲノム学による統合的理解とこれを用いた免疫疾患の 発症予防のためのインターベンション戦略の構築	62
■ 帝人株式会社	
124. フレイルの予防薬・治療薬の研究開発	62
■ 株式会社電通国際情報サービス	
125. エッジ AI と LPWA 技術の活用により、畜産農家の放牧牛管理と金融機関の ABL 管理を省力化	63
■ 株式会社東邦銀行	
126. 「東北大学発のベンチャー企業向け投資ファンド」への出資	63
■ 株式会社ニコン	
127. 東京工業大学発のベンチャー (XTIA) への出資	64
■ 西松建設株式会社	
128. ジオポリマーコンクリートに資する木質バイオマス燃焼灰の資源化技術の 実証開発	64
■ 日揮ホールディングス株式会社	
129. 廃コンクリートなど産業廃棄物中のカルシウム等を用いた加速炭酸塩化 プロセスの研究開発	65
130. 海水および廃かん水を用いた有価物併産 CO ₂ 固定化技術の研究開発	65
131. 新しいビジネスを創出する活動	66
132. 繊維産業のサステナブル化に向けた共同研究	66
■ 日本電気株式会社	
133. NEC ブレイインスパイヤードコンピューティング協働研究所	67
■ 日本電信電話株式会社	
134. ロボット農機や 5G、IOWN 関連技術による農機の圃場間自動走行と 遠隔監視制御	67
135. 光を用いたスパイキングニューラルネットワーク ～新しい脳型情報処理システムの実現をめざして～	68
136. 京都大学におけるリアルワールドデータ事業の実施とあらたな 産学連携モデルとしての新会社 PRIME-R 設立	68
■ 日本アイ・ビー・エム株式会社	
137. IBM 東大ラボ	69
138. 新型コロナウイルスゲノム変異解析・可視化の共同研究	69
139. ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (牽引型) TIDE (Tsukuba Advanced Initiative for Diversity & Environment) - 筑波大学 & 産総研 & 日本 IBM での産学官連携女性技術者・ 研究者育成の取組み	70
140. AI スーツケースプロジェクト	70
■ 株式会社日本総合研究所	
141. 東京大学「量子ソフトウェア」寄付講座の設置	71

■株式会社日本トリム	
142. 株式会社トリムメディカルインスティテュート	71
143. 電解水素水製造用の高機能性電極の開発	72
144. 電解水素水の機能性の評価に関する研究	72
■野村アセットマネジメント株式会社	
145. 金融データサイエンス・プラットフォームの共同開発	73
146. 野村アセットマネジメント、N-Village、筑波大学によるブロックチェーン 研究開発にかかる提携	73
■野村ホールディングス株式会社	
147. UTEC（東京大学エッジキャピタルパートナーズ）	74
■株式会社フジクラ	
148. 京都大学インフラ先端技術コンソーシアム	74
149. MIT. nano コンソーシアム参加	75
■株式会社ベネッセホールディングス	
150. 瀬戸内サステナビリティ&ウェルビーイング研究プロジェクト	75
■北海道電力株式会社・北海道電力ネットワーク株式会社	
151. 再生可能エネルギー熱利用にかかるコスト低減技術開発	76
■丸紅株式会社	
152. 九州大学と丸紅との連携・協力の推進に関する基本協定書締結	76
■三井不動産株式会社	
153. 三井不動産東大ラボ 「経年優化する都市～after コロナを見据えたデジタル革命による 次代の価値創造～」	77
■三菱地所株式会社	
154. FoundX	77
■株式会社三菱総合研究所	
155. 再生可能エネルギー主力電源化に必要な高速調整力の実装に向けた協業	78
■明治安田生命保険相互会社	
156. 未病に関する共同研究	78
■株式会社USEN-NEXT HOLDINGS	
157. 「帰宅を促す音楽」共同制作	79
■株式会社リンクアンドモチベーション	
158. モチベーションサイエンス研究所	79
■アコム株式会社	
159. ワンデー仕事体験	80
■エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社	
160. 東京大学建築学専攻等との共同研究（終了済み）	80

■岡谷鋼機株式会社	
161. 名古屋大学オープンイノベーション拠点（OICX）	81
■株式会社セブン&アイ・ホールディングス	
162. 千葉大学生まれのジャム	81
■株式会社フジクラ	
163. 産学連携コンソーシアム「つくば応用超電導コンステレーションズ （Applied Superconductivity Constellations of Tsukuba (ASCOT)）」	82
■株式会社北海道銀行	
164. ものづくり系大学・四高専を対象とした企業説明会	82

本事例集では、「採用と大学改革への期待に関するアンケート」において、企業から「掲載可能」と回答のあった事例について、「Ⅰ. 教育関係等」と「Ⅱ. その他研究関係等」に分けて、それぞれ会社名の五十音順で掲載。

「Ⅰ. 教育関係等」

- ・事業の種類において、「教育面での連携」に該当する取組事例を掲載。
（「教育面での連携」に加え、「研究面での連携」など他の種類にも○が付いている事例も掲載）

「Ⅱ. その他研究関係等」

- ・事業の種類において、「教育面での連携」に○が付いていない、「研究面での連携」などの種類に該当する産学連携の取組事例を掲載。
（ただし、「その他」のみに○が付いている事例は末尾に掲載）

I. 教育関係等

NO.	1	社名	株式会社 I H I
		プロジェクト名	横浜国立大学との人工知能 (AI) 技術に関する共同研究講座の開設

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転	
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出	
		地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上	
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	I H I は横浜国立大学人工知能研究拠点と連携する共同研究講座を開設し、A I 技術開発の内容や手法の妥当性などに関して専門家と共働するとともに人材育成や共同研究に取り組み、I H I の様々な製品・サービスや製造現場でのA I 技術の適用拡大につながる技術開発を実施している。また、講座の開設にあたり、I H I の技術者2名を共同研究講座の非常勤教員としている。
連携先大学等	横浜国立大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.ihl.co.jp/ihl/all_news/2019/technology/2019-7-12/index.html

NO.	2	社名	株式会社 I H I
		プロジェクト名	東北芸術工科大学との I-To Lab. (イトラボ) の設立

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転	
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出	
		地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上	
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	I-To Lab. (イトラボ) は、ビジネスパートナー協定を締結した株式会社 I H I と東北芸術工科大学が、「ものづくり技術の中核とするエンジニアリング力」と「アート・デザインによる課題解決力」の融合により、地域発イノベーションにより雇用を創出することを目的に設立された。ラボでは、山形県を中心に企業・個人の価値ある技術・プランの種を見つけ出し、I H I ・東北芸術工科大学の技術力・総合力、デザイン・マーケティング力を掛け合わせ、イノベーションを創出し、販促流通までデザインすることで、地方で雇用を生む事業化を行い、山形県の経済発展に貢献する。
連携先大学等	東北芸術工科大学
大学以外の連携組織	山形銀行、山形県工業技術センターなど
紹介URL	https://www.tuad.ac.jp/about/i-to/ https://www.IHI.co.jp/var/ezwebin_site/storage/original/application/fb88d483f748d7a17f9f090169ebcbe9.pdf

NO.	3	社名	株式会社アシックス
		プロジェクト名	スポーツ振興を通じた地域・社会貢献やブランドの価値向上などを目的とした組織的連携

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化	<input checked="" type="radio"/>	その他		
行政の参画						

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	研究開発における連携、人材交流、社会貢献活動を3つの柱とし、主要体育各部（野球、競走、ラグビー蹴球、ア式蹴球、庭球）へのサポート、より良い製品を提供するための共同開発、ライセンスグッズの収益の一部を活用したスポーツイベントの開催など様々な取組みを行っていく。
連携先大学等	早稲田大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://corp.asics.com/jp/press/article/2021-04-26

NO.	4	社名	アルー株式会社
		プロジェクト名	STEAM 教育における学習内容・目標マップと指導者の資質・能力マップの開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ●目的：TEAM 教育の指標となる学習内容・目標マップと指導者の資質・能力マップを規定することで、多様なSTEAM教育プログラムを社会に広く普及していく基盤をつくる。 ●研究内容 社会人教育のノウハウを参考にし、各教科の学習内容、目標と関連付けながらSTEAM教育が持つ問題解決に必要な資質・能力を年齢ごとに規定する。規定した学習内容・目標に対応できる指導者の資質・能力を規定する。 ●成果物 STEAM教育における段階別の学習内容・目標のマップ。上記に対応できるSTEAM教育の指導者に求められる資質・能力のマップ。
連携先大学等	東京学芸大学
大学以外の連携組織	一般社団法人 STEAM JAPAN
紹介URL	https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS81552/660d2866/a2f9/45b9/8c15/866e2a899ac7/140120191212436407.pdf

NO.	5	社名	井関農機株式会社
		プロジェクト名	国立大学法人愛媛大学と井関農機株式会社との間の「知的食料生産システム」についての研究連携協定

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/> 人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	安全で安心して食べられる食料の安定供給は、健康で豊かなくらしを維持するための重要な基盤である。知的食料生産システムは、情報通信技術（ICT）、人工知能（AI）、及び機械化・ロボット化技術を統合した最先端の栽培技術により、安全・安心な食料を含む農作物の生産性を飛躍的に高めるとともに、農業のスマート化に貢献し、地域社会の活性化にも寄与するものである。 農業の効率化、省力化を追求する井関農機株式会社と、農作物生産における情報化・ロボット化技術の研究開発拠点である愛媛大学が連携することにより、知的食料生産システムの社会実装を推進する。具体的には、共同研究の実施とこれに伴う研究者の交流、寄附講座の設置等を行う。
連携先大学等	愛媛大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.iseki.co.jp/news/up_img/1593583296-396931.pdf

NO.	6	社名	株式会社 I N P E X
		プロジェクト名	Project Based Learning 型授業

産学連携の類型

事業の類型		研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	工学部の学部2年生（10名程度）を対象に、石油・天然ガス開発事業に関わる技術評価の講義・演習を実施。当社社員が講師となり、200分×5回の講義を開催（2018年、2020年）。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.inpex.co.jp/csr/topics/20190115.html

NO.	7	社名	株式会社内田洋行
		プロジェクト名	先端の ICT 活用についての包括連携協定

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画						

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	「未来の学び共創研究センター」と連携し、L-Gate、EduMall 等を活用したエンゲージメント（≒学びに向かう力）を育む ICT 活用に関する実証研究を実施する。
連携先大学等	北海道教育大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	

NO.	8	社名	AGC株式会社
		プロジェクト名	東京工業大学との「AGCマテリアル協働研究拠点」

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	「AGCマテリアル協働研究拠点」を、東工大オープンイノベーション機構のもとで2019年に開設し、組織対組織の連携を進めている。東工大が物質・材料を含む幅広い領域で保有する学術的知見と、AGCが培ってきた技術力を連携させ、これまでの個別研究では難しかった総合的な研究開発を行っている。また、新研究テーマや新事業分野の創出を行うべく、新研究テーマ企画チームを設置し、研究の企画機能を担っている。これらにより、研究者の密接な交流と研究開発ネットワークを構築し、新テーマ創出・開発・検証・社会実装のプロセスを効果的に進めるとともに、人材育成およびイノベーション創出に寄与することを目指している。
連携先大学等	東京工業大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.agc.com/news/detail/1199403_2148.html

NO.	9	社名	NECネットエスアイ株式会社
		プロジェクト名	With & After コロナ時代の学習/キャンパス環境を新たに探究する

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	新型コロナウイルス感染拡大の影響により世界規模で授業のオンライン化が進んだが、After コロナの時代においてもオンライン環境の整備は大学の責務である。また、オンライン環境下でも教育の質を保証し、且つオンラインならではの価値の提供が重要となる。 授業だけでなくさまざまな活動を通して学生が人間関係を築くことも大学の重要な機能の一つで、オンライン化に伴う対面授業や学生同士の交流機会の減少は、学習や課外活動に対する意欲の低下につながりかねない。これらの課題について今まで以上に一人ひとりに寄り添うサポートが求められるなか、多様なオンラインツールやノウハウを用いて教育・環境の質を保持、強化しつつ、これからの「新しい大学像」をつくるのが本共同研究の目的である。
連携先大学等	立教大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.nesic.co.jp/news/2021/20210303.html

NO.	10	社名	愛媛トヨタ自動車株式会社
		プロジェクト名	大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会

産学連携の類型

事業の類型		研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	大学が単位認定でインターンシップの事前指導～企業マッチング～評価を行うもので、当社は受入先として学生へ研修を実施している。また一部大学からの依頼で、事前指導の講義に講師として社員を派遣している。
連携先大学等	愛媛県内5大学（愛媛大学・松山大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学・聖カタリナ大学）
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.univcon.ehime-u.ac.jp/internship.html

NO.	11	社名	株式会社オーバル
		プロジェクト名	インターンシップ

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	毎年8月の夏休み期間を利用した約4.5日間に亘るモノづくり体験インターンシップを開催 弊社研究開発等～加工・組立までの一連のモノづくり体験（単位認定あり）
連携先大学等	大学（理系学科）全般
大学以外の連携組織	
紹介URL	現在掲載なし（リクナビ2023： https://job.rikunabi.com/2023/company/r184162061/internship/ ）

NO.	12	社名	小野薬品工業株式会社
		プロジェクト名	京都大学大学院医学研究科創薬医学講座

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	京都大学と支援企業が一緒になって今後の薬づくりに必要な人材を養成する講座。基礎医学知識（Layer 1）の体系的な教授に加え、最新の創薬に必須の臨床遺伝学、バイオインフォマティクスなどの実習（Layer 2）、様々なヒト疾患を対象にした病態から薬物標的抽出の演習（Layer 3）、さらに、バイオバンク、ビッグデータ、探索臨床、知財から創薬のビジネスモデルまで（Layer 4）を講述し、さらに、これらの知識を京都大学メディカルイノベーションセンターでの産学連携プロジェクトなどの創薬研究に参画して実践することにより、アカデミア、製薬企業での研究職、起業家、開発マネジメント、産学協働プロジェクトなどで活躍する人材を育てる。
連携先大学等	京都大学
大学以外の連携組織	小野薬品工業株式会社、大日本住友株式会社、田辺三菱株式会社、杏林製薬株式会社
紹介URL	http://www.mic.med.kyoto-u.ac.jp/ddm/

NO.	13	社名	KDDI株式会社
		プロジェクト名	水産業の課題解決に向け、産学官の連携による新たな水産業モデルを構築

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	三重県内の5GやIoTなど先端技術を活用した水産業のデジタルトランスフォーメーション「海洋DX」の積極的な展開を目指す。 1. 海洋DXに係る新技術開発の共同研究 2. 海洋DXに係る先端技術の社会実装への取り組み 3. 海洋DXに係る人材育成に取り組む。
連携先大学等	三重大学、鳥羽商船高等専門学校
大学以外の連携組織	三重県水産研究所、鳥羽市、株式会社KDDI総合研究所
紹介URL	https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2021/03/16/5011.html

NO.	14	社名	KDDI株式会社
		プロジェクト名	長野県立大学とのイノベーション人材、起業家人材育成への取り組み

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	長野県立大学とは2019年11月に包括連携協定を締結。スタートアップやベンチャー企業の支援に実績を有する当社の人脈を活かし、現在第一線で活躍中のベンチャー企業の経営者から様々な話を聞くことができる講演会を開催。20年度には計5回開催した。 第一回 9月23日(水) 篠塚考哉(㈱TASTE LOCAL代表取締役社長) 第二回 10月21日(水) 古川 健介(けんすう)(アル㈱創業者、CEO) 第三回 11月25日(水) 村田 聡(㈱ルクサ創業初期メンバー・元CEO、現ビズリーチ取締役) 第四回 12月9日(水) 菅原 健一(㈱Moonshot代表取締役CEO) 第五回 1月20日(水) 大湯 俊介(コネヒト㈱創業者、元CEO)
連携先大学等	長野県立大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.u-nagano.ac.jp/news/kddi_venture_lectures/ https://www.u-nagano.ac.jp/news/venture_seminar2/ https://www.u-nagano.ac.jp/news/kddi_venture_seminar2-38099/ https://www.u-nagano.ac.jp/news/venture_seminar4-16091/ https://www.u-nagano.ac.jp/news/kddi_venture_seminar5-38099-33105/

NO.	15	社名	コマツ（株式会社小松製作所）
		プロジェクト名	国内7機関との産学連携推進包括協定の締結（それぞれの機関との個別契約）

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転	
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出	
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上	
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コマツの研究開発拠点(関東、関西、北陸)に近い有力大学・研究機関との、「組織」対「組織」の産学連携の推進 ・大学・研究機関内に協働研究所・連携研究室(大阪大学、東京工業大学、産業技術総合研究所)や社会連携講座(東京大学)を設置し、人的交流を含めた研究活動を集中的に実施
連携先大学等	横浜国立大学、大阪大学、金沢大学、東京大学、東京工業大学、早稲田大学
大学以外の連携組織	産業技術総合研究所
紹介URL	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪大学：https://www.komatsu.jp/jp/press/2015/others/1187818_1581.html ・東京工業大学：https://www.titech.ac.jp/news/2019/043914 ・早稲田大学：https://www.waseda.jp/top/news/73078 ・産業技術総合研究所：https://www.aist.go.jp/aist_j/news/pr20200326_2.html

NO.	16	社名	コマツ（株式会社小松製作所）
		プロジェクト名	石川県、コマツ、早稲田大学の連携によるIoT/AI 高度技術人材育成

産学連携の類型

事業の類型		研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	<input checked="" type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政も参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	今後想定される産業変革に対応できる人材の育成・確保、特に、鍵となるIoT/AI 関連技術人材の育成を、産学官の連携により推進。
連携先大学等	早稲田大学、北陸先端科学技術大学院大学
大学以外の連携組織	石川県、石川県基幹4業種（機械、繊維、食品、IT）業界団体（石川県鉄工機電協会、石川県繊維協会、石川県食品協会、石川県情報システム工業会）、他
紹介URL	石川県、コマツ、早稲田大学による「IoT/AI 高度技術人材育成に関する包括連携協定」（2020年9月2日） https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kensei/koho/photogallery/2020/20200902.html

NO.	17	社名	コマツ（株式会社小松製作所）
		プロジェクト名	中国2大学との産学連携包括協定（それぞれの大学との個別契約）

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	現地法人の課題解決、技術力向上や人材育成等による、現地法人の強化に重点を置いた、現地主導の活動を展開。インターンシップ等により、学生の育成にも貢献。
連携先大学等	山東大学 (Shandong University)、同済大学 (Tongji University)
大学以外の連携組織	コマツ現地法人（小松（中国）投資有限公司、小松（山東）建機有限公司、小松山推建機有限公司）
紹介URL	

NO.	18	社名	コマツ（株式会社小松製作所）
		プロジェクト名	インドネシア2大学との産学連携包括協定（それぞれの大学との個別契約）

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	共同研究等による技術開発を実施するとともに、大学や地域社会への貢献を目的として、コマツによる大学での出張講義、大学若手教員の来日研修、学生への奨学金、インターンシップなど、様々な活動を展開。
連携先大学等	バンドン工科大学 (Institut Teknologi Bandung)、ガジャ・マダ大学 (Gadjah Mada University)
大学以外の連携組織	コマツ現地法人 (PT KOMATSU INDONESIA、YAYASAN KOMATSU INDONESIA PEDULI)
紹介URL	

NO.	19	社名	J F E スチール株式会社
		プロジェクト名	九州大学鉄鋼リサーチセンター 産学連携講義

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	鉄鋼関連分野の教育・人材育成を目的に九州大学および鉄鋼メーカー6社で実施。講義・工場見学・演習・討論等の企業による実践的教育を通じ、優秀な人材の育成を図る。
連携先大学等	九州大学
大学以外の連携組織	日本製鉄(株)、(株)神戸製鋼所、大同特殊鋼(株)、山陽特殊製鋼(株)、日鉄ステンレス(株)
紹介URL	https://res.kyushu-u.ac.jp/activities.html

NO.	20	社名	塩野義製薬株式会社
		プロジェクト名	下水中の新型コロナウイルスの自動解析体制構築

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input checked="" type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	北海道大学、ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社、株式会社 iLAC 及び塩野義製薬株式会社は、下水疫学に基づき新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) をモニタリングする調査について、自動解析体制の構築に向け4者間で基本合意書を締結。
連携先大学等	北海道大学
大学以外の連携組織	ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社、株式会社 iLAC
紹介URL	https://www.shionogi.com/jp/ja/news/2021/03/210319.html

NO.	21	社名	株式会社島津製作所
		プロジェクト名	大阪大学・島津 分析イノベーション協働研究所

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	大阪大学・島津 分析イノベーション協働研究所は、メタボロミクスを核とするオミクスを軸にして、各種共同研究を積極的に推進し『幸せな健康長寿の実現』という社会課題を解決することを目的としている。メタボロミクス技術の応用を開発する大阪大学を中核機関とし、弊社技術員も常駐し、共同で質量分析技術開発、適用範囲の拡大、利用者増大に資するデータ解析の簡易化を目指し、他機関とも積極的に連携しつつ、新たな技術開発、技術者育成等に努めている。また、大阪大学と連携し、ASEAN 諸国をはじめとした人的交流も活動に含め、医学、医療、製薬、食品、エネルギーなど『メタボロミクス』が関わる広い分野での課題解決に生かすとともに、革新的なブレークスルーを生み出せる機関となるよう協働している。
連携先大学等	大阪大学
大学以外の連携組織	富士通株式会社、特定非営利活動法人システム・バイオロジー研究機構、協同乳業株式会社
紹介URL	【協働研究所概要】 https://www.shimadzu.co.jp/labcamp/ 【成果のプレスリリース事例】 https://www.shimadzu.co.jp/news/press/jmsxjkg1v6g0snf.html https://www.shimadzu.co.jp/news/press/qpom30ffh373b-hn.html

NO.	22	社名	株式会社常陽銀行
		プロジェクト名	常磐大学との連携講座

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画						

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	常磐大学と連携し、同校の学生に対し「金融概論」・「キャリア開発論」の講義を実施する。各種テーマ毎に講師を派遣し、金融や銀行業務に関する知識の取得だけでなく、キャリアイメージの醸成も目的としている。
連携先大学等	学校法人常磐大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	

NO.	23	社名	昭和電工株式会社
		プロジェクト名	機械工学ものづくりプロジェクト

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	その他	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	企業での製品開発を疑似体験していただく授業を行う。機械工学科3年生対象。昭和電工では、川崎発電プラント KP4 号の誘引ファン振動対策をベースに課題を選定した。運転中の振動増加に対し、“設備を停止することなく振動を抑制する”といった課題を与え、設備改造(技術開発)の疑似体験してもらい実習講義を行った。課題に沿って学生から独自のアイデアを出してもらい、設備改造を具体化してもらい。その他に、ハードディスクのスパッタ装置に関する課題で実習講義を行ったこともある。
連携先大学等	慶應義塾大学
大学以外の連携組織	海内工業(株)、いすゞ自動車(株)、キヤノン(株)、日本精工(株)、横河電機(株)
紹介URL	https://www.mech.keio.ac.jp/ja/edu-project.html

NO.	24	社名	昭和電工株式会社
		プロジェクト名	電子材料ガスを用いた微細加工技術の研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/> 研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	その他	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	
行政の参画	行政も参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	平成24年度から、流体研究室寒川教授との間で半導体ガス関係[新規の微細加工技術(電子材料ガスを用いたプラズマエッチング技術)]の共同研究を行っている。本研究は、ダメージレスな加工を特徴とした中性粒子ビームエッチング法に着目した半導体デバイス加工技術の確立を主なテーマとしており、現在に至るまで、量子ドット太陽電池、5G向け GaN-FEMT デバイス、MicroLED デバイスなどの先端デバイスを対象とした研究を行ってきた。昭和電工は、本研究を進めるにあたり、電子材料ガスの提供を行うことで材料面で研究に貢献してきた。
連携先大学等	東北大学
大学以外の連携組織	直接的には無し 間接的には、産業技術総合研究所が関連
紹介URL	

NO.	25	社名	株式会社SUBARU
		プロジェクト名	東京工業大学 実践AI・データサイエンス講義

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	AIやデータサイエンス技術の社会実装の現状と最先端技術を理解し、それらの技術の応用可能性と課題を考察することを目的としている。各回の授業において、最適化、生命保険、フィンテック、製造業、重工業等の分野における技術開発や商品開発の動向や課題を解説する。
連携先大学等	国立大学法人東京工業大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	http://www.ocw.titech.ac.jp/index.php?module=General&action=T0300&GakubuCD=4&GakkaCD=340000&KeiCD=&KougiCD=202131689&Nendo=2021&vid=03

NO.	26	社名	住友化学株式会社
		プロジェクト名	固体型電池システムデザイン 産学共同講座

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	2020年4月1日付で、次世代二次電池として注目されている固体型電池の実用化に向けた材料および要素技術の開発を共同で行うため、京都大学桂キャンパス内に、同大学の安部武志教授をはじめとする研究グループと住友化学による産学共同講座を開設した。固体型電池は、活物質-固体電解質界面の高い抵抗などの課題が多いため、いまだ自動車用途など中・大型電池では量産化されていない。本講座では、固体型電池のさらなる発展系として、他に類を見ない尖った材料開発を目指し、無機、有機、高分子、電気化学、計算化学の英知を結集し、固体型電池システムを最適にデザインした安全性と高エネルギー密度を両立させた新規な固体型電池の構築を目指している。
連携先大学等	京都大学、鳥取大学
大学以外の連携組織	なし
紹介URL	https://www.sumitomo-chem.co.jp/news/detail/20200318_2.html

NO.	27	社名	住友化学株式会社
		プロジェクト名	廃棄物由来メタノール製造における技術開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	二酸化炭素から高効率にメタノールを合成する技術につき、島根大学と共同で研究開発しているもの。ごみの焼却時などに発生する二酸化炭素と水素を原料に、基礎化学品として幅広く使用されているメタノールを製造するもので、温室効果ガスの削減と炭素循環経済の確立を目指す。
連携先大学等	島根大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.sumitomo-chem.co.jp/news/detail/20200910.html

NO.	28	社名	住友化学株式会社
		プロジェクト名	廃プラスチック由来オレフィン製造における技術開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	廃プラスチックを化学的に分解し、プラスチックなどの石油化学製品の原料として再利用するケミカルリサイクル技術を、室蘭工業大学と共同で研究開発しているもの。当社がこれまで培ってきた触媒設計や化学プロセス設計技術を活かして、本ケミカルリサイクル技術を早期に社会実装し、温室効果ガス削減や炭素循環経済確立に貢献していく。
連携先大学等	室蘭工業大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.sumitomo-chem.co.jp/news/detail/20200304.html

NO.	29	社名	住友化学株式会社
		プロジェクト名	住友化学高度情報人材育成奨学金

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	世界に先駆けた「超スマート社会」の実現（Society5.0）に向け日本の産業活動を活性化させるためには、数理・データサイエンスに関する高度な素養を持ち、課題解決や価値創出に繋げられる人材育成が不可欠である。こうしたデータサイエンティストを志し日本の産業を牽引していく人材の育成を支援し、また、特に情報系人材の獲得競争が激しさを増す中で学生が早期に就職し、博士課程進学率が低率に留まっていることに鑑み、博士課程進学を奨励する観点から、給付対象を博士課程在籍者とした給付型奨学金制度を設け、大阪大学と共同で運営。
連携先大学等	大阪大学
大学以外の連携組織	なし
紹介URL	https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2020/08/0301

NO.	30	社名	住友化学株式会社
		プロジェクト名	東京工業大学物質・情報卓越教育院への参画

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/> 人的交流
	その他			
地域活性化との関係				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	東京工業大学において物質科学と情報科学が融合した領域の「複素人材」を育成するために設置された卓越大学院の設置・運営を支援。賛助会員として登録し、「俯瞰力涵養」委員会の委員の立場から学生へのメンター活動、プラクティススクール運営支援、評価会議への参加等を実施。
連携先大学等	東京工業大学
大学以外の連携組織	なし
紹介URL	https://www.tac-mi.titech.ac.jp/

NO.	31	社名	住友商事株式会社
		プロジェクト名	東広島市・広島大学との包括的連携～Town & Gown 構想～

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input checked="" type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input checked="" type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	国立大学・自治体が職員をクロスアポイントし一体となった街づくりを推進（Town & Gown 構想）。国立大学がコーディネートしながら、業種の異なる複数の民間企業が集まり、大学（海外含む）・自治体・民間企業・市民が連携し、Society5.0の先行的な実現の場としてSDGsなどの社会課題解決を実現するスマートシティを建設する日本初の産官学民連携モデル構築に取り組む。
連携先大学等	広島大学
大学以外の連携組織	東広島市、その他民間企業
紹介URL	経団連「地域協創事例集」（2021年11月16日） https://www.keidanren.or.jp/policy/2021/105_jirei.pdf

NO.	32	社名	住友林業株式会社
		プロジェクト名	木や植物の新たな価値創造による再生循環型未来社会協創事業

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	東京大学と住友林業との産学協創協定。当事業は、木の最先端科学研究を通じて「木の価値」を高め、木質資源の循環利用でサーキュラーバイオエコノミーシステム（循環型共生経済）を構築、持続可能で人と地球環境にやさしい未来社会を実現するのが目的。木や植物の経済的価値の向上、森林資源の公益的価値の顕在化、木や植物と人の関係の定量化、の3つの視点から多角的にグローバル・コモンズに資する協創を推進。また、人材育成およびベンチャー企業の協業にも取り組む。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://sfc.jp/information/news/2020/2020-09-28.html

NO.	33	社名	第一生命保険株式会社		
		プロジェクト名	東北大学・NTTデータとの包括連携協定		

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input checked="" type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input checked="" type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	産学連携による「イノベーション創出」と「地方創生」を通じた社会課題の解決を目的に、包括連携協定を締結。QOL向上と健康寿命延伸に資する研究やデータサイエンスのプロフェッショナル人財育成、先端技術・ベンチャー企業の事業化支援・投資、東北大学キャンパス・地域における事業基盤の強化支援について協力。具体的には、ライフサイエンス分野での共同研究や、東北大学ベンチャーパートナーズを通じたベンチャー企業への出資、学生向けのアイデアソンの実施など、幅広い領域において包括的に共創を進めている。
連携先大学等	東北大学
大学以外の連携組織	NTTデータ
紹介URL	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2019_034.pdf

NO.	34	社名	第一生命保険株式会社		
		プロジェクト名	東京理科大学との包括連携協定		

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input checked="" type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input checked="" type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	健康寿命の延伸、QOL向上、成長産業の創出、地域コミュニティの活性化に向けて、包括連携協定を締結。InsTech分野の共同研究やデータサイエンティスト等の先端理系人財の育成、ベンチャー企業等の発掘・投資などのイノベーション創出における協力に加え、理科大のキャンパス設置地域の再開発・事業創生プロジェクトの共同取組を通じた地方創生・地域活性化への貢献も目指している。人財育成に関しては、第一生命の社員を対象にした研修と理科大生のインターンシップによる受入を行い、相互に交流を図っている。
連携先大学等	東京理科大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2018_069.pdf https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2020_004.pdf

NO.	35	社名	ダイキン工業株式会社
		プロジェクト名	「空気の価値化」を目指した、人材交流型の協創連携プロジェクト

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input checked="" type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	10億円×10年間、100億円の協創連携プロジェクト。 1. 空気の価値化を目指したビジョン構築 2. 東大の最先端研究を活用した未来技術の研究開発 3. 東大関連ベンチャー企業との提携・連携 4. 協創連携を促進するための人材交流（スプリットアポイントメント、博士留学、インターンシップ等）
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://daikin-utokyo-lab.jp/

NO.	36	社名	ダイキン工業株式会社
		プロジェクト名	情報科学分野を中心とした包括連携

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input checked="" type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	情報科学分野を中心に、AI人材の教育まで含めた包括連携プロジェクト。 5億円×10年間、50億円規模。 1. 情報科学分野での課題設定型共同研究と、駐在派遣による実施 2. 高度研究人材の獲得・育成を狙った高等共創院研究プログラム 3. 情報科学系の学生研究支援プログラム 4. ダイキン情報技術大学の設置によるAI人材の育成
連携先大学等	大阪大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	

NO.	37	社名	ダイキン工業株式会社
		プロジェクト名	環境社会貢献に向けた包括連携プロジェクト

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	カーボンニュートラルの実現へ向けた、新技術の研究開発プロジェクト 1. CO ₂ の分解・再利用技術の開発によるカーボンネガティブの実現 2. 分野融合型学際研究による、空調要素技術の極限追及 3. 環境社会貢献を目指した、リベラルアーツ教育による人材育成
連携先大学等	同志社大学
大学以外の連携組織	新エネルギー・産業技術総合開発機構応募予定
紹介URL	

NO.	38	社名	ダイキン工業株式会社
		プロジェクト名	地域密着型の医工農連携プロジェクト

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	1. 鳥取大学のフラットで垣根を超えるスピードを活用した、医農工連携共同研究により、安心・安全かつ健康・快適な空気環境の実現に向けた共同研究を実施。 2. また、鳥取砂丘にある乾燥地研究センターは、世界中の乾燥地研究拠点とネットワークを持っており、陸地の41%、人口の34%を抱える乾燥地、すなわち当社の将来市場における空調ソリューションの研究開発に取り組む。 3. 鳥取県青谷市にある、当社のグローバル研修センターを活かした、人材交流・育成にも取り組む。
連携先大学等	鳥取大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	

NO.	39	社名	帝人株式会社
		プロジェクト名	公益財団法人 帝人奨学会の運営

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="checkbox"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	若き科学技術者を育成支援するため、奨学金の貸与または給付を行い、奨学生同士の交流企画等を運営実施している。1953年の創設以来、ノーベル賞受賞者をはじめとする約1,700名の科学技術者が、当会OB・OGとして、研究機関や大学、民間企業で活躍している。
連携先大学等	各大学名誉教授、教授が奨学会役員として参画
大学以外の連携組織	理化学研究所 創発物性科学研究センター 副センター長が奨学会役員として参画
紹介URL	帝人奨学会HP https://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/

NO.	40	社名	株式会社電通国際情報サービス
		プロジェクト名	実践型教育プログラムで生まれた学生提案を社会実装する研究プロジェクト

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	株式会社電通国際情報サービスのオープンイノベーションラボと東京大学大学院新領域創成科学研究科の「環境デザイン統合教育プログラム」は、都市・建築・ランドスケープ等の環境デザイン分野の課題解決に向けた学生の提案を、先端技術を活用して社会実装し、その成果やプロセスを体系化する「社会実験構想学」の共同研究を開始した。本共同研究は実践型教育プログラムを通じて生まれた学生提案から、複数の社会実験を企画・実施する。両者は、本共同研究の成果を論文として発表するとともに、得られた研究成果が生かせる類似の構造を持つ社会課題や、他地域への応用・展開も検討していく予定である。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.isid.co.jp/news/release/2020/0406.html

NO.	41	社名	東京海上ホールディングス株式会社・東京海上日動火災保険株式会社
		プロジェクト名	データサイエンス人材育成プログラム「Data Science Hill Climb」

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="checkbox"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	東京海上グループのデジタルトランスフォーメーションを担うデータサイエンティストの育成を目的とした教育プログラム「Data Science Hill Climb」を2019年度に創設。本プログラムは、産学連携で創り上げたデータサイエンティスト適性人材の発掘・育成・評価のための体系的スキームであり、延べ200時間以上に及ぶ長期カリキュラムにより、まずは土台となる数学の知識とプログラミングを学習し、その後データサイエンス関連技術を習得し実践していくもの。現在は社内に留まらず、社外の社会人が学生の受け入れも行っている。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	スキルアップAI株式会社、株式会社ALBERT
紹介URL	https://tokiomarine-dshc.com/

NO.	42	社名	東ソー株式会社
		プロジェクト名	次世代ジルコニア創出社会連携講座

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	社会課題解決に向けた次世代ジルコニアの研究開発を行うとともに、次世代ジルコニアを高度に応用した材料開発研究を推進できる人材育成を目指していく。更に、次世代ジルコニア技術を積極的に産学連携研究に展開することによって、産業界における様々な課題解決に資することを目指していく。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	一般財団法人ファインセラミックスセンター 株式会社ワールドラボ
紹介URL	https://www.tosoh.co.jp/news/assets/20200701_newsrelease.pdf

NO.	43	社名	東ソー株式会社
		プロジェクト名	「社会連携講座」規則性多孔体の革新的合成プロセスの構築

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	規則性多孔体であるゼオライトは吸着剤、触媒等に広く産業利用されている。様々な合成技法が知られている一方で、ゼオライトの結晶化メカニズムには未だ不明な点も多くあるのが現状である。この解明のため、ゼオライトの多様な結晶構造の制御において重要な制御因子である原料の性質や構造の理解を深めることが必須である。本研究では、ゼオライトを原料に異なるゼオライト構造を得る「ゼオライト転換」プロセスを題材に、結晶化過程の本質解明に挑み、自在な結晶化技術を目指した技術構築を進める。本研究で得られた成果を踏まえて、学部・大学院講義において、同分野の合成と応用の最先端分野を講義し、次世代を担う人材の育成を行う。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.tosoh.co.jp/news/assets/newsrelease20190712.pdf

NO.	44	社名	東ソー株式会社
		プロジェクト名	生体液バイオマーカー共同研究講座

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	患者数が多く、透析医療が必要となる糖尿病を対象に、尿検査によって腎症などの糖尿病合併症の早期発見、障害程度の把握を可能にする新規尿マーカーの探索と新規診断技術開発を目指す「生体液バイオマーカー共同研究講座」を設置。最新鋭の質量分析装置を複数台導入、専任教員・専任研究員による集中研究を複数年に渡り実施し、緊密な産学連携体制のもと、糖尿病など生活習慣病の臓器障害のバイオマーカー探索と検出技術の開発を推進中。
連携先大学等	新潟大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.tosoh.co.jp/news/assets/newsrelease20180516-2.pdf

NO.	45	社名	株式会社東邦銀行
		プロジェクト名	東邦銀行提供講座「地域金融論」

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他			
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・福島大学で提供講座「地域金融論」を実施。 ・地域の人材育成に資する事業として、2011年に開始し、2021年度で11回目の開催。 ・全15回の講義の中で、「地域金融機関の役割」、「福島県の経済と産業」、「経営支援・事業再生支援」、「SDGs / ESG」、「地方創生への取組み」等幅広いテーマについて講義。 ・2019年度までは対面授業を実施していたが、2020～2021年度は新型コロナの影響によりオンライン授業にて実施。
連携先大学等	福島大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	

NO.	46	社名	株式会社東邦銀行
		プロジェクト名	「ふくしまで働く！しごと体感ツアー」 福島県庁×東邦銀行×東京海上日動火災保険

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他			
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政も参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県、東京海上日動火災保険、当行の3者は「地方創生・SDGsの推進に関する連携協定」を締結しており、協定に基づく取組みの一環として「ふくしまで働く！オンラインしごと体感ツアー」を実施。 ・学生が今後の進路選択を検討するにあたり、県内の企業・行政の仕事をより深く知ってもらうことにより、UIJターンや県内定着の選択につなげることを目的に開催。 ・2019年度までは3者を訪問し職場を体感するプログラムとしていたが、2020年度以降はオンラインで、3者による各業務概要紹介、先輩社員との座談会等のプログラムを提供。
連携先大学等	福島県内外の複数の大学
大学以外の連携組織	福島県 東京海上日動火災保険㈱
紹介URL	https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/renkei.html

NO.	47	社名	株式会社東邦銀行		
		プロジェクト名	とうほう起業家応援相談会		

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他			
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県よろず支援拠点と連携し、「とうほう起業家応援相談会」を定期的で開催（月1回程度）。 ・「創業・起業」「新規事業参入・新製品開発」「販路拡大」「補助金・助成金」等起業に関する多様な相談に対応。 ・2020年度からは在学中や卒業後に起業を目指す学生も対象としており、創業に関する基礎知識全般に関する相談から、具体的な事業構想についての相談等、学生が起業に関して抱える悩み・課題の解決に向けてアドバイス・サポートを実施。
連携先大学等	福島大学
大学以外の連携組織	福島県よろず支援拠点
紹介URL	

NO.	48	社名	株式会社栃木銀行		
		プロジェクト名	とちぎん創業塾		

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他			
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政も参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	創業を目指す方や創業間もない方の「事業化支援」を目的とし、宇都宮市および高根沢町において特定創業支援事業として開催。創業に必要な4つの知識（経営戦略、販路拡大、財務会計、労務管理）と資金調達について講義を行う。
連携先大学等	宇都宮大学、宇都宮共和大学、作新学院大学、帝京大学、白鷗大学
大学以外の連携組織	栃木県、宇都宮市、高根沢町
紹介URL	

NO.	49	社名	株式会社栃木銀行
		プロジェクト名	創業支援にかかる事業への協力

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他			
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政も参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	地域の抱える課題解決のため、事例を交えて講義を行っている。地域の魅力、地域の課題を理解し、その地域資源と特性を生かした地方創生を実践できる人材を育成する。
連携先大学等	宇都宮大学
大学以外の連携組織	財務省、栃木県信用保証協会
紹介URL	

NO.	50	社名	株式会社栃木銀行
		プロジェクト名	ビジネス人材の育成に関する連携協定

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他			
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政も参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	地域の抱える課題解決のため、事例を交えて講義を行っている。地域の魅力、地域の課題を理解し、その地域資源と特性を生かした地方創生を実践できる人材を育成する。
連携先大学等	作新学院大学
大学以外の連携組織	財務省、栃木県信用保証協会
紹介URL	

NO.	51	社名	トヨタ自動車株式会社
		プロジェクト名	未来社会工学開発研究センター Society 5.0を実現するモビリティインフラの先端研究拠点

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	移動の自由と新たな社会サービスの創出により「次世代自動車交通基盤」を構築し、ヒューマンセントリックな革新的都市の実現と地域の自立的な存立の貢献に資するため研究を推進する。 筑波大学と共同で設立した「未来社会工学開発研究センター」において、社会工学に加え、医学・サイバニクス・芸術・体育・数学などの学際融合により、新たな視点から社会課題解決のための探索研究を行う。
連携先大学等	筑波大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.f-mirai.tsukuba.ac.jp/

NO.	52	社名	トヨタ自動車株式会社
		プロジェクト名	名古屋大学COI（文部科学省センター・オブ・イノベーションプログラム）

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	COIは、10年後の目指すべき社会像を見据えたビジョン主導型の研究開発によりイノベーションを連続的に創出する拠点形成を目的とした、文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム」である。このなかで、名古屋大学COIは「人がつながる“移動”イノベーション拠点」として、超高齢化の進む日本において、すべての人が地域差・個人差なくいつまでも社会の現役として活躍できる社会の実現に向けて、高齢者が自らの意思でいつまでもどこまでも移動できる「高齢者が元気になるモビリティ社会」の構築をビジョンに掲げ、産学官民連携での革新的イノベーションを創出すべく研究開発を推進している。
連携先大学等	名古屋大学、愛知県立大学、東京農工大学、名古屋市立大学
大学以外の連携組織	パナソニック、AGC、KDDI総合研究所、豊田中央研究所、産業技術総合研究所、豊田市、春日井市、名古屋市
紹介URL	http://www.coi.nagoya-u.ac.jp/ https://www.jst.go.jp/coi/outline/outline.html

NO.	53	社名	トヨタ紡織
		プロジェクト名	生産技術開発を中心とした連携と協力に関する包括協定

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	<p>将来のモノづくり革新に向けた生産技術力の強化を中心とした包括的な連携。金型技術開発において最先端の研究を行う岩手大学と、自動車内装システムやパワートレーン機器などを開発・生産するトヨタ紡織が連携することにより、大学の教育研究とトヨタ紡織の生産技術力向上を通じて地域の発展に寄与することを目標として実施。2019年3月から2025年にわたり、幅広い分野における技術相談や生産技術に関する共同研究を進めるとともに、インターンシップの受け入れや講演会を通じた人材交流、双方の施設・設備の有効活用など、多方面で連携を深める。</p> <p><2021年実施内容例> 教育面での連携：インターンシップ2名受入（[期間] 3週間）、研究面での連携：共同研究（3テーマ）</p>
連携先大学等	岩手大学
大学以外の連携組織	岩手県庁
紹介URL	「生産技術開発を中心とした連携と協力に関する包括協定」締結についてのニュースリリース https://www.toyota-boshoku.com/jp/news/release/detail.php?id=7265

NO.	54	社名	株式会社ニコン
		プロジェクト名	ニコンイメージングサイエンス寄付研究部門

産学連携の類型

事業の類型		研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	<p>現役レンズ設計者による指導のもと、プロ用の設計ソフトウェアを用いてレンズ設計実習を行うなど、産業に直結する特徴ある光学教育を行う。</p>
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.nikon.co.jp/technology/rd/ http://www.optics.iis.u-tokyo.ac.jp/

NO.	55	社名	株式会社ニコン
		プロジェクト名	「数物フロンティア国際卓越大学院」での開講科目「社会数理実践研究」

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	数学の理論を深化、創成し異分野連携ができる次世代の数学・数理科学のリーダーの養成
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/wings-fmsp/

NO.	56	社名	日鉄ソリューションズ株式会社
		プロジェクト名	筑波大学「組み込み技術キャンパス 0JT」

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	筑波大学の情報学群（情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類）の3年次(過年度を含む)を対象とし、ソフトウェアとハードウェアの2つのコースに分かれて開講している。インストラクターの講義や直接指導を行うとともにTAがサポートする。インストラクターは、それぞれの分野におけるエキスパートであり、受講生はその経験とスキルを十分に体験し、学習することができる。
連携先大学等	筑波大学
大学以外の連携組織	株式会社アクセル、エクステージ株式会社、株式会社セルシス、株式会社エイチアイ、株式会社カンデラジャパン、株式会社レアゾン・ホールディングス、スリーワンシステムズ株式会社、株式会社ワコム
紹介URL	http://www.cojt.or.jp/tkb/

NO.	57	社名	日鉄ソリューションズ株式会社
		プロジェクト名	東京大学大学院理学系研究科「量子ソフトウェア」寄付講座

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	量子コンピュータによる新しい量子機械学習手法の研究や量子アプリケーションの開発を目的として、2021年6月1日に「量子ソフトウェア」寄付講座を設置した。本寄付講座は、東京大学大学院理学系研究科に設置し、同研究科に附属している「知の物理学研究センター」と協力して研究・教育を推進する。量子コンピュータと、情報圧縮に役立つテンソルネットワークや情報抽出を行うサンプリング手法などの組み合わせによる新しい量子機械学習手法や量子アプリケーションの開発、大規模シミュレーションによる量子コンピュータの背後に潜む物理の理解、最先端知見の獲得を通じ、社会実装における課題の解決、および、量子ネイティブな専門人材育成を目指す。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	S C S K株式会社、株式会社NTTデータ、株式会社電通国際情報サービス、株式会社三井住友フィナンシャルグループ・株式会社日本総合研究所、日本電気株式会社、日本ユニシス株式会社、富士通株式会社、blueqat株式会社
紹介URL	http://qsw.phys.s.u-tokyo.ac.jp/

NO.	58	社名	日鉄ソリューションズ株式会社
		プロジェクト名	東京工業大学情報理工学院サポーターズ制度「データサイエンス・AI 特別専門学修プログラム」

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	数多くの産業において情報技術が欠くことのできない基盤となり、高度な情報技術を身に付けた人材が求められる中、情報理工学の素養を活かして社会的課題解決や新産業創出に貢献できる人材を育成することを目的に、東京工業大学情報理工学院は「高度情報理工学人材育成事業」を立ち上げた。様々な業種の企業と連携して、種々のプログラムを企画、運営していくことにより、高度な情報技術を有した実社会のリーダーとなる人材の養成を目指す。例えば、現実の社会的課題の解決を対象とする授業、多様なインターンシップ、キャリアフォーラムといった教育プログラムを通して、情報理工学院の教員・学生と企業の研究担当者、事業担当者をつなぎ、人材育成を行っていききたいと考えている。
連携先大学等	東京工業大学
大学以外の連携組織	https://www.cep.c.titech.ac.jp/%E4%BC%81%E6%A5%AD%E3%81%AE%E7%9A%86%E6%A7%98%E3%81%B8-3/ 参加企業一覧
紹介URL	https://www.cep.c.titech.ac.jp/ http://www.dsai.titech.ac.jp/

NO.	59	社名	日本電気株式会社
		プロジェクト名	NEC・東京大学フューチャーAI研究・教育戦略パートナーシップ協定

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	・脳・神経系を模倣した超低消費電力AI処理PFの研究 ・社会実装のための倫理・法制度、文理融合研究、人材育成
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	なし
紹介URL	https://jpn.nec.com/press/201609/20160902_01.html

NO.	60	社名	日本電気株式会社
		プロジェクト名	東北主催のGrips-Sendaiへ参加

産学連携の類型

事業の類型		研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/> 人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	日米の数学系大学院生との異分野融合プログラム（通信、量子コンピューティングのテーマ提示）
連携先大学等	東北大学
大学以外の連携組織	なし
紹介URL	https://www.meti.go.jp/shingikai/economy/risukei_jinzai/pdf/002_05_00.pdf

NO.	61	社名	日本電信電話株式会社
		プロジェクト名	5G（第5世代移動通信システム）の推進、「スマートシティ・スマートキャンパス」創造に関する包括連携協定（近畿大学・NTT・NTTドコモ・NTT西日本・NTTデータ）

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input checked="" type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input checked="" type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画						

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	五者の包括連携協定により、それぞれの持つ人材や知識・教育・研究などの資源を活用し、相互に協力して、近畿大学内での5Gの実証実験等を通じてスマートシティ・スマートキャンパスの創造及び教育・研究への展開、そして国内における5Gの普及、地域社会・国際社会の発展に寄与すべく、取り組みを進める。また、仮想の都市空間ともいえるキャンパスを、設置した5G環境も含めて、地域の企業やスタートアップ企業が実証実験などで利用できるよう開放する。
連携先大学等	近畿大学
大学以外の連携組織	NTT・NTTドコモ・NTT西日本・NTTデータ
紹介URL	https://www.ntt.co.jp/news2020/2011/201124a.html

NO.	62	社名	日本電信電話株式会社
		プロジェクト名	テクノロジーの進化と人が調和する、新たな世界観の構築に向けて～IOWN時代を支える生きがい・倫理・社会制度について、京大とNTTとの共創を開始～

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	領域横断的な知としての哲学を新たに導入し、京都大学出口教授が提唱している東洋的自己観をもとに、リアルとバーチャルが融合する世界での新たな世界観の構築を目指す。京都大学の人文科学の知とNTT R&Dのテクノロジーを活用し、IOWN構想が実現した世界における人の生きがいや倫理、社会制度を検討する取り組みを推進する。
連携先大学等	京都大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://group.ntt.jp/newsrelease/2019/11/13/210203a.html

NO.	63	社名	日本ハム株式会社（国内食肉生産事業部）
		プロジェクト名	産業動物臨床実習受け入れ

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	共同獣医学課程学生への養豚および養鶏の商業農場、処理工場での産業動物臨床実習
連携先大学等	帯広畜産大学、北海道大学
大学以外の連携組織	日本ホワイトファーム株式会社、インターファーム株式会社、日本フードパッカー株式会社
紹介URL	https://www.nipponham.co.jp/news/2017/20171205/

NO.	64	社名	株式会社日本総合研究所
		プロジェクト名	デジタル化時代にビジネスで求められる人材育成のための産学共同講座「情報学ビジネス実践講座」の設立

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	産学共同で産業界が求めるITとビジネスの人材を育成することを目的に、2018年11月1日に産学共同講座を設立。京都大学と協力企業が連携して、大学教育の段階より事業とITの両面、ならびにこれらを適切に結び付ける企業経営について実務的に学ぶ機会を提供し、産業界全般から求められている人材の育成を行うことを狙いとする。講義は協力企業から業務におけるITの活用や経営課題の例を教材として得て進めるため、本共同講座の受講を通じ、ビジネスにおけるITの重要性を、様々な企業実務に基づき実践的に修得することが可能となる。
連携先大学等	京都大学
大学以外の連携組織	ANAシステムズ株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社NTTデータ、DMG森精機株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動システムズ株式会社、株式会社日本総合研究所、株式会社三井住友フィナンシャルグループ、日本電気株式会社、NECマネジメントパートナー株式会社
紹介URL	https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=33505

NO.	65	社名	株式会社日本総合研究所
		プロジェクト名	サステナビリティ人材育成プログラム「SAKI」のアカデミア向け無償版の提供

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	企業向けに提供しているサステナビリティ人材育成プログラム「SAKI (Sustainability Action and Knowledge Immersion)」を基に、大学等のアカデミア利用向けの無償版（以下「本プログラム」）を開発。2020年度は20機関を対象に本プログラムを無償で提供。本プログラムは、大学等にとってカリキュラムに手軽に組み込みやすいこと、そして、新型コロナウイルス感染症の影響で学びの環境が急変し、時間が不足している学生が、ESGやSDGsに関する知識をすばやく獲得できることを目的に、SAKIを90分間にコンパクトにまとめたものとなる。
連携先大学等	非公開 計12大学
大学以外の連携組織	なし
紹介URL	https://www.jri.co.jp/company/release/2020/0806/ https://www.jri.co.jp/company/release/2021/0526/

NO.	66	社名	株式会社日本トリム
		プロジェクト名	慢性腎臓病透析治療共同研究部門

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	研究目的 1. 電解水透析の臨床的有効性を無作為化比較臨床試験にて評価する 2. 腹膜透析への応用に関し、早期探索的臨床試験を実施する 聖路加国際病院、仙台市立病院、仙台柳生クリニック、東北大学農学研究科が協力研究機関として加わり、さらに高いレベルでの研究・開発を推進し、電解水透析システムのさらなる普及を目指している。また、基礎試験において良好な結果を得ている電解水素水を活用した腹膜透析分野についても、新たな技術開発、臨床試験の実施に取り組む。また、弊社社員を客員教授として研究・教育に従事させている。
連携先大学等	東北大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.hosp.tohoku.ac.jp/departments/d5000

NO.	67	社名	日本貿易会（国際社会貢献センター）
		プロジェクト名	高校生国際交流の集い

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/> 地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	関西学院大学と連携協定を締結し、大阪府・兵庫県内の高等学校との高大連携の枠組みで国際理解教育を2007年から共同開催・実施。(2019年度からウェブ開催)
連携先大学等	関西学院大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.kwansei.ac.jp/shakairenkei/shakairenkei_013657.html

NO.	68	社名	日本貿易会（国際社会貢献センター）
		プロジェクト名	実務家講師による講座受託

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/> 地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	全国31大学において、67講座・1024コマの講義を受託し、実務家講師として当センターの会員延べ208名が講義を担当。
連携先大学等	青山学院大学、亜細亜大学、東京海洋大学、筑波大学、法政大学、一橋大学、京都大学、同志社大学、関西学院大学、神戸大学、立命館アジア太平洋大学など全国31大学（2020年度実績）
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.abic.or.jp/activity/index_daigaku.html

NO.	69	社名	日本ユニシス株式会社
		プロジェクト名	長野 IT コラボレーションプラットフォーム

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input checked="" type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	新規事業推進の主体となる事業者とその推進を支援する事業者とのコラボレーション推進
連携先大学等	長野県立大学、信州大学
大学以外の連携組織	長野県経営者協会、シソーラス、長野市など
紹介URL	https://nicollap.jp/ 地域共創ラボ (参考URL: https://nicollap.jp/topics/others/424)

NO.	70	社名	日本ユニシス株式会社
		プロジェクト名	未来環境ラボ

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="checkbox"/>	研究面での連携	<input checked="" type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input checked="" type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	学術・研究の協力関係を築くための産学連携協定を締結し、これに基づき、本学の学生と日本ユニシス総合技術研究所の研究員とが相互に交流し、様々な学術・研究の共同作業を重ねていくための、「未来環境ラボ」を学内に開設した。
連携先大学等	京都情報大学院大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.keg.edu/facilities/future-lab

NO.	71	社名	日本ユニシス株式会社
		プロジェクト名	慶應義塾大学社会人大学院生派遣プログラム

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/> 人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/> 観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政も参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	慶應義塾大学が鶴岡市に構える慶應義塾先端生命科学研究所および鶴岡タウンキャンパスへ社会人大学院生として社員を派遣し、先進的な生命科学の知識習得、慶應発ベンチャーとの協業、自治体と連携した地域活性化活動などを経験するプログラム。日本が世界に誇る生命科学技術の学びや地域に根差し地元民との交流の中で、社内では培えない越境的学習、ネットワーキング、社会（地域）課題に即したプロジェクト運営などを体験し、将来的な新規事業創出が期待できる人財の育成を促進するプログラムである。弊社以外にも同様のプログラムを慶應と提携している企業もあり、企業を超えたネットワーキングが可能である点も特徴的である。
連携先大学等	慶應義塾大学
大学以外の連携組織	鶴岡市
紹介URL	特になし

NO.	72	社名	野村ホールディングス株式会社
		プロジェクト名	大学生に対する金融・経済教育（金融リテラシー）の推進

産学連携の類型

事業の類型		研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	野村グループは、「将来の日本経済を担っていく学生に、生きた経済や実践的な金融知識を提供する」ことを目標に、2001年から大学生を対象とした金融・経済教育講座を継続的に実施している。現在では、年間100校近くの国公立・私立大学にて金融・経済教育講座を開講しており、金融知力（金融リテラシー）の普及、学生に対する投資教育の促進、そして未来の投資家の育成を目指し、これからも野村グループのSDGs活動の一環として金融経済教育に積極的に取り組んでいく。
連携先大学等	全国各地の国立・公立・私立大学 2019年度 101校、2020年度 69校（コロナ禍のため中止などで減少）、2021年度 87校
大学以外の連携組織	
紹介URL	大学向け金融教育講座 https://www.nomuraholdings.com/jp/company/gallery/event/lecture.html 大学向け金融・経済教育講座の開設20周年について https://www.nomuraholdings.com/jp/news/nr/nsc/20210714/20210714.html

NO.	73	社名	野村ホールディングス株式会社
		プロジェクト名	金融ジェロントロジーに関する研究事業

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	<input checked="" type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input checked="" type="radio"/>	その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	野村ホールディングスは、わが国が人生100年時代ともいわれる長寿高齢化の時代を迎え、金融ジェロントロジーへの関心や期待が高まってきていることを踏まえ、一般社会における知識の普及およびその知見を金融サービス等に活用できる人材育成を目指し、慶應義塾大学と三菱UFJ信託銀行株式会社とともに、2018年に共同研究会を立ち上げ、2019年には、一般社団法人日本金融ジェロントロジー協会を設立した。当該協会は、長寿社会が進展する中で、個人・家計の長寿・加齢が経済活動や金融行動（貯蓄、資産選択・資産運用等）に与える影響について学際的に研究を行い、高齢者が抱える金融面を中心とする課題解決に資することを目的としている。野村ホールディングスは、一般社団法人日本金融ジェロントロジー協会への支援を通じて、引き続き日本の金融業界のサービス向上に寄与していく。
連携先大学等	慶應義塾大学
大学以外の連携組織	一般社団法人日本金融ジェロントロジー協会、三菱UFJ信託銀行株式会社
紹介URL	【ホームページ】一般社団法人日本金融ジェロントロジー協会 http://www.jfgi.jp/ 【ホームページ】フィナンシャル・ジェロントロジー研究センター https://rcfg.keio.ac.jp/ 【プレスリリース】フィナンシャル・ジェロントロジーに関する共同研究を開始 https://www.nomuraholdings.com/jp/news/nr/holdings/20161017/20161017.pdf 【プレスリリース】一般社団法人日本金融ジェロントロジー協会の設立について https://www.nomuraholdings.com/jp/news/nr/holdings/20190424/20190424.pdf

NO.	74	社名	株式会社ミクニ
		プロジェクト名	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転	
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出	
	<input checked="" type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上	
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input checked="" type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	男女共同参画を推進し、文部科学省の女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）を展開している岩手大学を中心とし、「北東北国立3大学連携推進会議」における弘前大学や「女性研究者支援連携推進会議」での八戸、一関高等専門学校に加え、地域の研究機関である東北農業研究センター、地域の民間企業である（株）ミクニとの連携、また、「いわて女性研究者支援ネットワーク」に加入している機関の参画を仰ぎ、相乗効果による北東北の女性研究者・上位職増加の加速的スパイラルの実現を目指している。
連携先大学等	岩手大学、弘前大学、八戸工業高等専門学校、一関工業高等専門学校
大学以外の連携組織	農研機構東北農業研究センター
紹介URL	http://gender.iwate-u.ac.jp/diversity/

NO.	75	社名	三井住友海上火災保険株式会社
		プロジェクト名	MS & ADデジタルアカデミー（INIAD：東洋大学情報連携学部）

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他	<input type="radio"/>		
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他	
行政の参画	行政は不参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	MS & ADデジタルアカデミーとは、「デジタル事業創造人財」「データサイエンティスト」の人財育成を目的に、東洋大学情報連携学部(以下「INIAD」)と提携した当社専用の研修プログラム。大学の講座で社員に最新のデジタル技術を学ばせる取組みを始める。 ・IoTの先駆者として知られる坂村健・東京大名誉教授が学部長を務める東洋大情報連携学部に、社員向けの専用講座を開設。 ・商品開発や人事、総務など幅広い部署の社員が講座を受講し、実際のビジネスに生かすことを目指す。
連携先大学等	東洋大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	ニュースリリース： https://www.ms-ins.com/news/fy2018/pdf/0712_1.pdf

NO.	76	社名	山田コンサルティンググループ株式会社
		プロジェクト名	現場体験型インターンシップ

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	その他	<input type="radio"/>		
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない			
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他	
行政の参画	行政は不参画			

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	弊社の起点事業である企業の事業再生に関する一連の流れを具体的事例のワークショップに取り組んでいただくことで体感してもらうもの。企業経営の難しさと経営を取り巻くステークホルダーとの関係性等、その実態に触れて頂くことで抽象的包括的ではない個々の事象に肌感覚をもって学びを得てもらう。
連携先大学等	東京都立大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	

NO.	77	社名	ヤマハ発動機株式会社
		プロジェクト名	ヤマハ発動機・静岡大学 産学連携

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転	
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出	
		地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上	
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	2022年に100周年を迎える静岡大学浜松キャンパスの「静岡大学浜松キャンパス100周年記念事業」をきっかけとして、これまでの技術相談や個別の共同研究から、より先進領域における企業ニーズに対して、静岡大学のもつ総合的な知見活用による早期課題解決、イノベーション創出を目指している。さらには、「先進技術探索/ビジネス創出」「人材育成」についても、より強固な連携を図る予定である。
連携先大学等	静岡大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://global.yamaha-motor.com/jp/news/2020/0903/corporate.html

NO.	78	社名	株式会社USEN-NEXT HOLDINGS
		プロジェクト名	NAGAOKA WORKER PROMOTION INTERNSHIP

産学連携の類型

事業の類型		研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転	
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流	
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input checked="" type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	長岡市では、長岡で暮らしながら首都圏企業（本社採用・同待遇）に完全リモートワークで勤める新しい働き方「NAGAOKA WORKER（ナガオカワーカー）」を推進しているが、（長岡の学校にいながら首都圏の企業の仕事をしたり、長岡の企業で働きながら首都圏の企業で兼業・副業することも含む）、その賛同企業である株式会社USEN-NEXT HOLDINGSは、NAGAOKA WORKERのプロモーションコンテンツ（WEBサイト・コンセプトムービー・パンフレット等）を制作する方をインターンシップ生として2021年7月より募集。長岡造形大学・長岡技術科学大学・長岡工業高等専門学校から合計5名の学生が応募。NAGAOKA WORKERでは地方優秀人材の流出を防止するとともに、地域にイノベーションを創出する新たなワークモデルであるが、その候補者にもなるインターンシップ生が、現在大学・行政等と連携をとり、PR活動に従事している。
連携先大学等	長岡造形大学・長岡技術科学大学・長岡工業高等専門学校
大学以外の連携組織	長岡市役所
紹介URL	『NAGAOKA WORKER（長岡市公式サイト）』 https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/life01/work-model.html

NO.	79	社名	吉本興業ホールディングス株式会社
		プロジェクト名	笑う東大、学ぶ吉本プロジェクト

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	その他	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化	<input checked="" type="radio"/>	その他	<input type="radio"/>	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	2025年大阪・関西万博、その先のSDGs目標達成年次の2030年を見据えながら、学術とエンターテインメントの積極的な対話、協働を推進し、持続可能な新しい価値の創出と未来への提言を目指す。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://laughmaga.yoshimoto.co.jp/archives/138174

NO.	80	社名	株式会社リンクアンドモチベーション
		プロジェクト名	ALL DOSHISHA 教育推進プログラム 産官学連携を中核としたキャリア形成プログラムの策定

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	その他	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他	<input type="radio"/>
行政の参画	行政も参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	大学院という専門家集団の中での抽象的な議論は、「知」を深めていくためには不可欠なプロセスだが、学術的なテーマも根本的には「現実」の中に問題を見出し、解決していくためにあるはずである。とりわけ経済学は、社会の課題にどう答えるかが問われる学問である。「産学連携キャリア形成プログラム」では、企業や地域経済といった実社会をケースとしたプログラムを実践することで、社会人基礎力や問題発見・解決能力を養うとともに、研究活動のモチベーションを喚起するものである。2018年から実施をしており、今年で4年目である。
連携先大学等	同志社大学
大学以外の連携組織	京都府丹後振興局、宮津市、伊根町、与謝野町、パナソニック、川崎重工業、京セラ、村田製作所、日本ガイシ
紹介URL	https://www.econ.doshisha.ac.jp/news/2021/0409/news-detail-652.html

NO.	81	社名	株式会社リンクアンドモチベーション
		プロジェクト名	文部科学省『大学による地方創生人材育成教育プログラム構築事業』 地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」

産学連携の類型

事業の類型		研究面での連携	<input checked="" type="radio"/>	教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	<input checked="" type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input checked="" type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	ENGINE プログラムは、全学横断特別教育プログラムの5つのコースと連携し、地域の課題を魅力に捉えなおすデータサイエンスのための素養をはじめ、地域資源や魅力発見に向けた固定概念に囚われない思考力、「ゼロ」から「イチ」を創り出すための実行力を、自らの専門力を伸ばしつつ、他者との関係から修得する約2.5年間のプログラムである。信州大学、富山大学、金沢大学が連携し、特定の地域にとらわれない発想や連携する力を身に付けていく。
連携先大学等	信州大学、富山大学、金沢大学
大学以外の連携組織	3地域の地方放送局（信越放送、チューリップテレビ、北陸放送） 3圏域の地元の企業→2021年の実践型インターンシップは各県の企業3社の合計9社
紹介URL	https://engine-prgm.shinshu-u.ac.jp/

II. その他研究関係等

NO.	82	社名	朝日生命保険相互会社
		プロジェクト名	社会連携講座「糖尿病・生活習慣病予防講座」

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	2018年4月より、東京大学大学院医学系研究科に社会連携講座「糖尿病・生活習慣病予防講座」を開設。日本国民の健康増進に資することを目的に、医療ビッグデータの解析やICTの活用を通じ、『生活習慣病の予防と重症化防止に資する効果的モデルの構築に向けた共同研究』を実施している。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	特になし
紹介URL	http://prev.umin.jp/

NO.	83	社名	株式会社アシックス
		プロジェクト名	安全な低酸素環境下トレーニング実施のための共同研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画						

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	本研究は、立命館大学スポーツ健康科学部の後藤一成教授とアシックススポーツ工学研究所が共同で実施する。低酸素環境下と通常酸素環境下では、運動時の心拍数や自覚的運動強度などにどれほどの差があるのかを実験で比較し、それらの実験データを基に、低酸素に対する耐性レベルとそれぞれのレベルに合った適正な運動強度の範囲を導き出す方法を考案する。本研究で得られた知見を活用して独自の安全性基準を確立し、安全で効果的な低酸素環境下トレーニングの実現をサポートする。
連携先大学等	立命館大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://corp.asics.com/jp/press/article/2019-09-02

NO.	84	社名	アステラス製薬株式会社
		プロジェクト名	京都大学とのアライアンス・ステーション開設

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	アライアンス・ステーション（Aステーション）は、京都大学とアステラス製薬がAKプロジェクトを通じて構築した臨床/基礎/創薬の連携体制を踏まえ、更に進化させた形で、オープンイノベーションによる創薬研究加速を目指して開設したものである。両者はAステーションを新たな産学連携の基盤として機動的かつ柔軟に協働し、あらゆる疾患領域を対象に複数の共同研究テーマを進めていく。京都大学とアステラス製薬はこれらの共同研究活動を通じて、アンメットメディカルニーズに応える創薬シーズ探索の加速及び臨床有用性予測技術の向上を目指していく。
連携先大学等	京都大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.astellas.com/jp/ja/news/9621

NO.	85	社名	アステラス製薬株式会社
		プロジェクト名	Astellas Alliance Acceleration Program; AAAP

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	所属する研究者から、疾患の背景にある生物学的メカニズムに関する初期調査から創薬標的の特定、新しい治療薬の創製とその検証に至る、さまざまな段階における研究開発の研究プロジェクト提案を幅広く募集する。アステラス製薬は、研究プロジェクトの協働に向け、提案された内容について東京大学の各研究者と議論や協議を行うことで、研究に初期段階からアクセスし、研究プロジェクトの協働を通じて最先端の科学・技術のイノベーションを早期に取り込むことが可能となる。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.astellas.com/jp/ja/news/16031

NO.	86	社名	伊藤忠商事株式会社
		プロジェクト名	伊藤忠商事 次世代がん治療研究講座

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	当産学共同研究講座は、名古屋大学大学院医学系研究科の元に置かれ、がん細胞の増殖との関連性が指摘されている細胞周期の制御異常に注目し、DNAの複製に関係するたんぱく質を標的とした、先進的ながんの遺伝子治療法を研究している。弊社は調査・研究資金を提供し、最終的には、既存の抗がん剤や治療法とは異なる、「次世代」のがん治療法の開発を行い、医療現場へ提供することを目指すものである。
連携先大学等	名古屋大学
大学以外の連携組織	なし
紹介URL	(伊藤忠) https://www.itochu.co.jp/ja/news/press/2019/190604.html (名古屋大学) https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/laboratory/industrial-collabo/itochu-collaborative-research-molecular-targeted-cancer-treatment-for-next-generation/

NO.	87	社名	株式会社岩田商会
		プロジェクト名	シクロデキストリンにおけるA剤の包接挙動の解析

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	当社が開発を進めている帯電防止剤（A剤をシクロデキストリンに包接させた化合物）の効果発現の要因となっている包接状態を明らかにするために、核磁気共鳴法による分析を名古屋工業大学にて実施した。同大学で測定を行うとともに、測定結果の解析について指導を受けた。
連携先大学等	名古屋工業大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	

NO.	88	社名	株式会社INPEX
		プロジェクト名	潮汐を利用した貯留層モニタリング手法に関する国際連携研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	貯留層圧カデータに含まれる地球潮汐または海洋潮汐起因成分を解析することにより、貯留層物性ならびに流動挙動の受動モニタリング手法の確立を目指す。東京大学および米国スタンフォード大学の連携研究。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	http://gpre.geosys.t.u-tokyo.ac.jp/sato/tides_j.html

NO.	89	社名	株式会社 I N P E X
		プロジェクト名	堆積ダイナミクス研究コンソーシアム

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	堆積システムの挙動を予測し、碎屑性貯留岩の構造を高い精度でモデリングする手法をメンバー企業へ提供する。この目的を達成するため、地形動力学に根差した堆積学の理論的研究や実験的研究に加えて、徹底的な野外調査やボーリングコアの解析を行う。また、巡検や講義を通じて、堆積学の最先端の知識をメンバー企業へ提供する。
連携先大学等	京都大学、長崎大学
大学以外の連携組織	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構、J X石油開発株式会社、石油資源開発株式会社
紹介URL	http://sediment.jp/01member/consortium/sankangaku181109.pdf

NO.	90	社名	株式会社内田洋行
		プロジェクト名	説明できるAIの基盤技術開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係						
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	教育ビッグデータを用いて、知識・学習者モデルを構築し、教師や学習者に説明できるデータ駆動型AIを構築。本AIを活用し根拠あるリコメンデーションできる学習システムの構築を目指す。
連携先大学等	京都大学
大学以外の連携組織	京都市、滋賀県、新エネルギー・産業技術総合開発機構
紹介URL	https://www.let.media.kyoto-u.ac.jp/project/exait/

NO.	91	社名	エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
		プロジェクト名	三者協力による都市型集住環境の再構築をめざした共同研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	日本では昭和30年代以降、高度経済期に急成長する日本の住宅需要を満たすため、数多くの都市型集合住宅が作られた。中でも代表例として挙げられる住宅団地(以下、団地という)は現在国内に5000近く存在するが、その多くは建物の老朽化が進んでいることに加え、現代の生活スタイルやバリアフリーに対応していないものが多く、時代に即した住環境の再構築が求められている。 再構築にあたっては、一般的に「建替え」や「大規模修繕」といった方法がとられるが、それらの実施プロセスにおいては、住民の合意形成、法的規制解決、知識やノウハウを持った専門家の招集、資金確保などが必要となるため、実施に至らないまま建物の老朽化や空き家化が進行するケースもあり、社会的な問題となっている。我々はこの問題の解決のため、各者が蓄積してきた知見・技術を活かし、産学一体となって取り組み、住民に寄り添った団地再生の実現を目指す。
連携先大学等	九州大学
大学以外の連携組織	NTTアーバンソリューションズ、西部ガス
紹介URL	https://www.ntt-us.com/news/2021/02/news-210208-02.html

NO.	92	社名	小野薬品工業株式会社
		プロジェクト名	免疫炎症性難病創薬コンソーシアム、

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	関節リウマチ、潰瘍性大腸炎などの免疫炎症性難病を対象とし、質の高い臨床データを基盤とした詳細な遺伝子発現解析等を行うことにより、免疫炎症性難病に対する新しい治療法・診断法の開発につなげることを目指す。
連携先大学等	慶應義塾大学、高知大学
大学以外の連携組織	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、田辺三菱製薬株式会社、第一三共株式会社
紹介URL	https://www.keio.ac.jp/ja/press-releases/files/2018/5/30/180530-1.pdf

NO.	93	社名	小野薬品工業株式会社
		プロジェクト名	全ゲノム情報と医療・健康情報の統合解析コンソーシアム

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	東北大学東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo) が中心となって、製薬企業5社と連携し、総計10万人分の全ゲノム解析データを構築することを目指すと共に、全ゲノム情報と東北メディカル・メガバンク計画のコホート調査によりバイオバンクに蓄積されている各種情報とあわせて統合的な解析を行い革新的な医薬品開発を推進する。
連携先大学等	東北大学
大学以外の連携組織	小野薬品工業株式会社、エーザイ株式会社、武田薬品工業株式会社、第一三共株式会社、ヤンセンファーマ株式会社
紹介URL	https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2021/07/press20210707-01-consortium.html

NO.	94	社名	兼松株式会社
		プロジェクト名	大学発ベンチャーキャピタルのウエルインベストメントとの業務提携

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input checked="" type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	兼松の営業基盤とウエルインベストメントのベンチャー投資基盤とを連携させ、有望な先進技術やビジネスモデルを有する国内外のベンチャー企業を発掘し育成する体制を強化することを目的として、業務提携契約を締結している。IoTやAIなど先進技術を軸とした新規事業の推進と拡大に取り組んでおり、宇宙分野では既にウエルインベストメントと協業関係にある。今後、長期的な研究開発活動によるイノベーションが新興産業の創出や既存産業の革新を起し、持続的な経済成長をもたらすと期待される領域を重点的に開拓する。両社のネットワークと知見を活かして有望な種を発掘し、グローバル市場で勝てるベンチャー企業の成長を後押しする。
連携先大学等	早稲田大学
大学以外の連携組織	ウエルインベストメント株式会社
紹介URL	https://www.kanematsu.co.jp/press/files/release/20190617_release.pdf

NO.	95	社名	兼松株式会社
		プロジェクト名	データ取引市場の形成

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	日本企業のデジタルトランスフォーメーション (DX) 推進に資するため、産学官民の垣根を超えたデータ流通市場の形成を目指して、日本におけるデータ取引市場を開設・運営している。兼松は J-DEX との提携を通じて、総合商社としての幅広い顧客基盤に加え、Dawex 社と共同展開するデータ取引市場に J-DEX が持つデータ戦略企画ノウハウを統合していくことで、データ利活用を具体化するためのコンサルティングからデータ流通まで、顧客に対する一貫したサービス提供を目指す。今後もデータ利活用を促進する各種事業者との連携を拡大し、先進的なデータコミュニティの創造を推進していく予定である。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	株式会社日本データ取引所、Dawex systems
紹介URL	https://www.kanematsu.co.jp/press/20191220_002403.html https://www.kanematsu.co.jp/press/20200929_002559.html

NO.	96	社名	キオクシア株式会社
		プロジェクト名	研究だけでなく、人材育成も包括的に網羅した「包括連携」

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	早稲田大学理工学術院総合研究所とは2018年に高度情報化社会を支えるために必要なメモリ技術に関する最先端の研究開発、および若手科学技術者の育成に向けて、連携活動協定を締結した。フィージビリティ・スタディ研究による革新的な基盤技術につながる共同研究テーマ創出と若手奨励研究による人材育成を実施している。 また電気通信大学とは、AIをはじめとする分野でオープンイノベーションを加速することを目指して、2019年に連携協定を締結した。AIを活用した生産技術や半導体メモリに関する研究開発、および人材交流を通じた若手技術者の育成に向けて、「画像処理、生産制御、行動解析技術」、「次世代情報通信技術」、「ナノテクノロジー技術」などの分野において、広く連携している。
連携先大学等	1件目：早稲田大学、2件目：電気通信大学
大学以外の連携組織	なし
紹介URL	早稲田大学とキオクシア株式会社の連携活動協定 https://about.kioxia.com/ja-jp/news/2018/20180725-1.html 電気通信大学とキオクシア株式会社の連携協定 https://about.kioxia.com/ja-jp/news/2019/20190705-1.html

NO.	97	社名	キオクシア株式会社		
		プロジェクト名	公募型の研究助成金プログラム「キオクシア奨励研究」		

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	2018年度より理学・工学のさらなる学術的発展に寄与することを目的に、公募型の研究助成金プログラム「キオクシア奨励研究」を実施している。この奨励研究は、国内の学術研究機関に所属する研究者を対象に、情報処理、AI関連技術をはじめ、ビッグデータ、アプリケーション、セキュリティ、半導体回路設計・デバイス・製造・プロセス・シミュレーション技術等の独創的なテーマについての研究を広く募集し、助成することを目的としたプログラムである。2019年度は、全国の計17大学と、半導体に加えて、情報システム、環境、医療など幅広い領域で連携を実現した。さらに2020年度は、環境、社会システム領域を含む21件の研究テーマを採択した。
連携先大学等	公募の対象：国内の学術機関
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://about.kioxia.com/ja-jp/news/2021/20210301-1.html

NO.	98	社名	株式会社紀陽銀行		
		プロジェクト名	高野山観光ビッグデータを活用した共同研究		

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	<input checked="" type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	2004年に世界遺産に登録された高野山は和歌山を代表する観光地であるが、観光シーズンにはオーバーツーリズムによる交通渋滞が発生し、観光客の大きな不満のひとつとなっている。加えて新型コロナウイルス感染拡大の影響でインバウンド需要が激減するなか、持続可能な観光都市をめざし、観光データに関する共同研究により駐車場の混雑緩和や迂回ルートの誘導方法、高野山への訪問客の動向分析、訪問者の人物像を明らかにするもの。
連携先大学等	和歌山大学
大学以外の連携組織	南海電気鉄道(株)、西日本電信電話(株)和歌山支店、NTTタウンページ(株)、(株)JT B、高野町
紹介URL	

NO.	99	社名	京浜急行電鉄株式会社
		プロジェクト名	Universal MaaS の社会実装に向けた連携

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	Universal MaaS とは、障がい者、高齢者や訪日外国人など、何らかの理由で移動にためらいのあるお客さまが快適にストレスなく移動を楽しめる移動サービスである。公共交通機関の運賃、運航・運行状況、バリアフリー乗り継ぎルートなどの情報をお客さまに提供するとともに、お客さまのリアルタイムな位置情報やお客さまが必要とする介助の内容を交通事業者、自治体、大学が共有し連携することにより、「誰もが移動をあきらめない世界」の実現を目指す。
連携先大学等	横浜国立大学
大学以外の連携組織	横須賀市、全日本空輸株式会社
紹介URL	https://universal-maas.org/

NO.	100	社名	J S R株式会社
		プロジェクト名	J S R・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	高度な素材と化学製品開発を促進している J S R グループの研究者は、基礎から臨床まで一体型の最先端医学と医療を展開している慶應義塾大学医学部と慶應義塾大学病院の研究者および医師とともに JKIC で協力して研究開発を行う。この医工連携においては、さまざまな医療ニーズに応えるための新しいアイデアを導入して、新たな診断法および治療技術の研究開発と産業応用を行う。
連携先大学等	慶應義塾大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://jkic.med.keio.ac.jp/

NO.	101	社名	J X 石油開発株式会社
		プロジェクト名	東京大学とのデジタルオイル技術に関する研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	当社が注目しているデジタルオイル技術に関して、東京大学は、デジタルオイル技術の学術研究・教育に多くの実績を有しており、デジタルオイル技術の学術研究を現場に応用できるかを検討しながら、CO2-EORにおける操業の最適化をテーマとして、環境負荷を抑えながら原油回収率向上を達成する技術に関する情報収集から生産最適化手法の構築を目指す。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.nex.jx-group.co.jp/newsrelease/2020/20201106_01.html

NO.	102	社名	J X 石油開発株式会社
		プロジェクト名	テキサス大学オースティン校とのケミカル（界面活性剤）を利用した石油増進回収に関する委託研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	当社が着目してきた、既存油ガス田の価値向上に大きく寄与する EOR (Enhanced Oil Recovery: 石油増進回収) 技術に関して、テキサス大学は、界面活性剤を利用したケミカル EOR に関して最先端の研究開発を行っており、当社はガス EOR に加えて、異なる手法での EOR 技術の確立を目指し、同大学へ研究を委託することになった。
連携先大学等	テキサス大学オースティン校
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.nex.jx-group.co.jp/newsrelease/2019/20191115_01.html

NO.	103	社名	塩野義製薬株式会社
		プロジェクト名	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のワクチン開発に関する研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	ワクチンの開発について、当社のグループ会社である株式会社UMNファーマが、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の支援する研究開発課題である「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のワクチン開発に関する研究」（研究開発代表者：国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター・長谷川秀樹センター長）に2020年3月より参画し、UMNファーマの有する技術を活用した組換えタンパク抗原の作製を進めた。
連携先大学等	九州大学
大学以外の連携組織	国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）、国立感染症研究所、厚生労働省、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）
紹介URL	https://www.shionogi.com/content/dam/shionogi/jp/news/pdf/2020/04/200427.pdf

NO.	104	社名	塩野義製薬株式会社
		プロジェクト名	新型コロナウイルス IgG/IgM 抗体検査キット製品の導入

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	当社は、新たな検査法としてMBS社が独自に中国内協力企業（Vazyme Biotech社、以下「Vazyme社」）から輸入している簡便な新型コロナウイルスIgG/IgM抗体検査キット（以下「COVID-19抗体検査キット」）を導入し、必要とされる医療現場等へ一刻も早く供給することを目指し、販売および取り扱いに関して、MBS社と業務提携。 日本国内においては相川直樹・慶應義塾大学名誉教授や感染症専門家の方々との協議を重ね、舘田一博・東邦大学医学部微生物・感染症学講座教授のもとで、日本での検査が進められた。
連携先大学等	慶應義塾大学、東邦大学
大学以外の連携組織	MBS社およびVazyme社
紹介URL	https://www.shionogi.com/content/dam/shionogi/jp/news/pdf/2020/03/200317.pdf

NO.	105	社名	塩野義製薬株式会社
		プロジェクト名	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）を含むウイルスの新規迅速診断法に関するライセンス契約

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者を診断する検査法としては、鼻腔や咽頭、唾液から採取した検体からウイルスの核酸を検出するPCR法（ポリメラーゼ連鎖反応）や抗原検査キット等が用いられている。しかしながら、これらの検査法では、専用測定器の必要性や、測定の簡便性、迅速性、検体採取時の医療従事者の感染リスク等、依然として多くの課題が残っている。そのため、これらの課題を解決した高感度かつ安価な診断法を開発する。
連携先大学等	日本大学、群馬大学、東京医科大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.shionogi.com/jp/ja/news/2020/06/200622.html

NO.	106	社名	塩野義製薬株式会社
		プロジェクト名	抗マラリア薬の創製を目指した共同研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	北里研究所は、感染症研究の世界的なパイオニアである北里柴三郎博士を創始者とし、近年では特別荣誉教授 大村智 博士が2015年ノーベル医学・生理学賞を受賞されるなど、日本を代表する感染症研究機関の一つである。本契約の締結により、附置研究所である大村智記念研究所で新たに見出した抗マラリア作用を有する微生物由来の化合物群に関し、本連携との間で共同研究を実施し、革新的な抗マラリア薬創製を目指す
連携先大学等	長崎大学
大学以外の連携組織	北里研究所
紹介URL	https://www.shionogi.com/jp/ja/news/2020/11/201125.html

NO.	107	社名	株式会社島津製作所		
		プロジェクト名	(国研) 農研機構島津製作所・食品機能性解析共同研究ラボ		

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	農研機構が育成した農産物に含まれる機能性成分の分析に、島津製作所の最新技術を生かすことで、簡便で迅速かつ正確な食品分析の新手法の開発を目指すもの。研究で得られた成分情報および分析方法を日本各地の農業関係者と共有することで、機能性成分を含有する農産物・食品の開発が進むことが期待される。農研機構と島津製作所は、本研究を通じて農林水産物・食品の輸出促進、農林水産業を柱とした地方創生に貢献していく。
連携先大学等	将来的には大阪大学、九州大学等
大学以外の連携組織	農林水産省、飲料食品企業等
紹介URL	https://www.naro.go.jp/laboratory/nfri/contens/project-info/naro-shimadzu.html

NO.	108	社名	株式会社島津製作所		
		プロジェクト名	食の安全・安心と健康のための技術連携		

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	質量分析計を用いる超臨界流体抽出分離システムを利用した食品の安全性試験方法(残留農薬等の試験法)や、農産物中の栄養・機能性成分の分析法等の開発を通じ、県産農作物のブランド向上を図り、海外への輸出の拡大に貢献する。さらに国内農業県では特徴ある農産物の育成に注力しており、宮崎県での取組を他県へ普及するとともに、同様の動きをアジアを中心とした海外各国へも展開していく。
連携先大学等	九州大学、宮崎大学
大学以外の連携組織	宮崎県・県下食品企業
紹介URL	https://www.shimadzu.co.jp/news/press/n00kbc0000004a0z.html

NO.	109	社名	株式会社常陽銀行		
		プロジェクト名	茨城大学との共同研究プロジェクト「Joint 結」		

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	当プロジェクトは、地域企業がコア・コンピタンス(企業の中核となる強み)を高めることで、地域活力向上を図っていくことを目的とした産学連携研究施策。 茨城県産品のブランド構築に向け、企業や地方公共団体等へのコンサルティング営業を実施するにあたり、その周辺知識習得のため、地理的表示の保護や知的財産権や伝統芸能技法などの事例研究を茨城大学との共同で実施する。
連携先大学等	茨城大学
大学以外の連携組織	茨城県経営者協会
紹介URL	なし

NO.	110	社名	株式会社常陽銀行		
		プロジェクト名	ビジネスプランコンテスト・めぶきビジネスアワード		

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	めぶきフィナンシャルグループ、足利銀行との共催で開催するビジネスプランコンテスト。革新的・創造的なビジネスプランを募集・表彰することで主要営業地盤の成長企業を応援し、地域経済の活性化につなげていくことを目的とする。茨城大学と筑波大学には、同アワードへの後援と審査員派遣をしてもらうとともに、両大学発ベンチャー企業や教員・学生への募集周知をしてもらっている。
連携先大学等	茨城大学、筑波大学
大学以外の連携組織	茨城県、栃木県、㈱日立製作所、野村證券㈱、丸紅㈱、㈱日本経営、凸版印刷(株)、損害保険ジャパン(株)、ジャコグループ(株)、野村アグリプランニング&アドバイザー(株)、野村ヘルスケア・サポート&アドバイザー(株)、㈱古賀総研
紹介URL	https://www.mebuki-fg.co.jp/csr/businessaward/

NO.	111	社名	昭和電工株式会社
		プロジェクト名	真空蒸着が可能なフラーレン誘導体の開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	名古屋大学未来社会創造機構マテリアルイノベーション研究所/大学院工学研究科化学システム工学専攻において、真空蒸着に耐える熱安定性をもったフラーレン誘導体を開発する。「フラーレンケトン」と名付けたフラーレン誘導体を起点に、フラーレン誘導体の開発と、これらの真空蒸着膜の物性研究を行う。最終的には、真空蒸着膜を各種有機薄膜デバイスに組み込み、デバイス特性として評価する。
連携先大学等	名古屋大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	http://chem.material.nagoya-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/07/%E5%85%B1%E5%90%8C%E7%A0%94%E7%A9%B6%E3%83%95%E3%82%9A%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9v5.pdf

NO.	112	社名	昭和電工株式会社
		プロジェクト名	各種材料の潤滑剤としての実用化のための技術的課題の明確化に関する共同研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	昭和電工が保有する各種材料（フラーレン、BN、黒鉛など）の潤滑用途への展開を目的とし、昭和電工では素材・組成物の作製を行い、名城大学では潤滑性の評価（耐摩耗、低摩擦）の測定と、現象の解析を行う。最終的には、各種材料の潤滑性の評価手法の開発と、潤滑性発現のための技術課題を明らかにする。
連携先大学等	名城大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	

NO. 113	社名	株式会社SUBARU
	プロジェクト名	次世代自動車技術研究講座

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	「もっと笑顔でもっと安心な、楽しい生活を人々にもたらすクルマ」を追求し、クルマの新たな価値を創出する研究開発を行う。また、本講座を核として、スタートアップ企業や地域企業等の参画、他研究機関との連携も進め、学生・研究者・社会人の人材育成や社会貢献も含めた、群馬大学－SUBARU型の独自の産学連携プラットフォームを構築していく。そして、これまで個々に進めていた共同研究を統括し、群馬大学が持つ理工系、医学系、保健学系、情報系の知のリソースを結集し、SUBARUの研究課題を解決するための取組みを、群馬大学－SUBARU間で戦略的、包括的、組織的に進めるフレームワークも本講座が担う。
連携先大学等	群馬大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.subaru.co.jp/press/news/2020_08_27_8956/

NO. 114	社名	住友精化株式会社
	プロジェクト名	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 戦略的省エネルギー技術革新プログラム／テーマ設定型事業者連携スキーム／電力機器用革新的機能性絶縁材料の技術開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	ナノコンポジットや傾斜機能材料を共通基盤技術として新たに開発し、電力機器（大型発電機、開閉装置、中小型発電機）に適用することで、高効率化、小型化を実現し、省エネルギー化を推進する。弊社は、中小型発電機用絶縁材料を開発し、省エネ実証試験において、消費電力損失の削減と使用電線の寿命延長の確認を行う。
連携先大学等	九州工業大学、早稲田大学、東京工科大学、静岡理科大学
大学以外の連携組織	産業技術総合研究所、Hide technology 社
紹介URL	https://www.nedo.go.jp/content/100869878.pdf

NO.	115	社名	住友生命保険相互会社
		プロジェクト名	健康増進に関わる共同研究

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画						

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	当社を含む3機関それぞれが有するビッグデータと知見を活用して日本人の健康増進に関する共同研究を行う。
連携先大学等	立命館大学
大学以外の連携組織	国立研究開発法人産業技術総合研究所
紹介URL	https://www.sumitomolife.co.jp/about/newsrelease/pdf/2018/180510.pdf

NO.	116	社名	積水化学工業株式会社
		プロジェクト名	自然に学ぶものづくり研究助成プログラム

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
	<input checked="" type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画						

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	積水化学グループでは、自然に学んだサイエンスの知見や自然の機能をもものづくりに活用する研究を支援するために、「積水化学 自然に学ぶものづくり研究助成プログラム」を、創立55周年記念事業の一環として、2002年度より毎年実施している。2020年度は、応募総数194件の中から、「ものづくりテーマ」5件と「基盤研究テーマ」7件の合計12件の研究に助成を行った。
連携先大学等	名古屋大学、工学院大学、慶應義塾大学ほか
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.sekisui.co.jp/csr/sustainability_products/contribution/nextgen/index2.html

NO.	117	社名	ダイキン工業株式会社
		プロジェクト名	中国における社会課題解決型の包括連携

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	当社において空調事業の次の中核事業となる「空気事業（清浄、換気、加湿、除湿、消臭、殺菌）」に関する商品開発のマザー拠点は中国・上海のR&Dセンターである。 中国市場における、ウィルス対策、PM2.5対策、花粉・カビ対策などを含めた空気環境問題の解決に向けて、市場の実態調査からの課題抽出と解決のための研究開発を実施中。
連携先大学等	清華大学(中国)
大学以外の連携組織	
紹介URL	

NO.	118	社名	太陽日酸株式会社
		プロジェクト名	β型酸化ガリウム結晶の有機金属気相成長に関する共同研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	高い省エネ効果を有する次世代パワーデバイス用半導体材料として注目されているβ型酸化ガリウム(β-Ga203)結晶が有機金属気相成長(MOVPE)法で成長する化学反応メカニズムを世界で初めて解明し、見出された最適成長条件で高純度のβ-Ga203結晶のMOVPE成長を実証した。MOVPE法によるβ-Ga203デバイス量産装置の開発に繋がる成果であり、脱炭素社会に向けたβ-Ga203パワーデバイスの実用化が期待できる。
連携先大学等	東京農工大学
大学以外の連携組織	気相成長株式会社
紹介URL	2021年4月1日 当社HP (https://www.tn-sanso.co.jp/jp/) 等によるニュースリリース発信「β型酸化ガリウム結晶の有機金属気相成長に成功！～次世代パワーデバイスによる脱炭素社会実現を加速～」

NO.	119	社名	大陽日酸株式会社
		プロジェクト名	安定同位体標識アミノ酸の製品開発強化

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	大陽日酸株式会社は、安定同位体標識アミノ酸の製造・販売会社であるSAI Lテクノロジーズ株式会社（以下、SAI L社）の全株式を取得した。SAI L社は、「SAI L (Stereo-Array Isotope Labeling ; 立体整列同位体標識) 法」を開発した甲斐荘正恒東京都立大学名誉教授が設立した大学発ベンチャー企業である。SAI L法は、タンパク質の構造・機能解析を目的とした世界唯一の革新的NMR技術であり、安定同位体を高度に特異標識したアミノ酸がその基本要素となっている。これまで困難であった、生体物質や薬剤との複合タンパク質などの動的ふるまいを詳細に解析することを可能にした。最先端の生命科学研究分野における知見を深めるとともに、創薬をはじめとした様々なバイオ関連産業で広く利用されることが期待されている。
連携先大学等	東京都立大学
大学以外の連携組織	SAI Lテクノロジーズ株式会社
紹介URL	2018年4月27日 当社HP (https://www.tn-sanso.co.jp/jp/) 等によるニュースリリース発信「SAI Lテクノロジーズ株式会社買収に関するお知らせ」

NO.	120	社名	中央日本土地建物株式会社
		プロジェクト名	ゆるぎの里”きさわ” 里山ワークショップ

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input checked="" type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会(以下、協議会)は、平塚市吉沢地区の地域問題を解決する為、地域の活性化を検討し、実践していくことを目的として、2010年11月に平塚市まちづくり条例に基づき設立された認定団体である。ワークショップは『恵まれた自然環境をいかして地域を活性化し、交流の輪を次世代につなぐまちづくり』を目指し、協議会、東京農業大学、平塚市、当社の4者が連携し、年に3回程度、活動を行っている。
連携先大学等	東京農業大学
大学以外の連携組織	平塚市 湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会(平塚市まちづくり条例に基づく認定団体)
紹介URL	平塚市ホームページ(湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会)活動報告 http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/machizukuri/page-c_02914.html

NO.	121	社名	中外製薬株式会社
		プロジェクト名	先端的な免疫学研究活動に関わる包括連携

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	大阪大学と中外製薬株式会社は、免疫学フロンティア研究センター（以下、IFReC）と中外製薬による先端的な免疫学研究活動に関わる包括連携契約を締結。この包括連携契約により、中外製薬からの10年間にわたる年間10億円の拠出を通じて、IFReCでは、研究者独自の発想に基づいた基礎研究に専念できる学術環境が維持され、免疫学に関する先端的な研究成果の社会還元を目指すことができる。また、IFReCが有する世界最先端の免疫学研究と中外製薬が独自の技術で培った創薬研究のノウハウが組み合わせられることで、基礎研究から臨床応用研究までの障壁が解消され、これまでにない免疫学分野における革新的新薬の創製が期待される。
連携先大学等	大阪大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2016/05/20160519_01

NO.	122	社名	中外製薬株式会社
		プロジェクト名	神経・免疫・代謝制御因子群を標的とした免疫難病・がん治療法の開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	免疫学研究は、医学・生命科学のドライビングフォースとして多くの新しい発見や知見をもたらしてきた。その成果は、関節リウマチやアレルギー疾患への生物学的製剤の開発、さらに抗免疫チェックポイント抗体によるがん免疫療法に応用され、今日の臨床現場に大きなインパクトを与えている。しかし、いまだ治療法のない数多くの免疫難病やがんが存在し、研究の進展と新しい知見に基づく臨床応用が求められている。このような背景の下、本講座では先端の免疫解析手法で大阪大学の免疫学研究成果を主にヒト検体を用いて多層的解析を構築し検証していく。さらに、得られた知見を基に中外製薬の創薬技術と共同し新しい治療法の開発に繋げる。
連携先大学等	大阪大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	http://www.comit.med.osaka-u.ac.jp/jp/project/projectA20.html

NO.	123	社名	中外製薬株式会社
		プロジェクト名	ヒト免疫系の機能ゲノム学による統合的理解とこれを用いた免疫疾患の発症予防のためのインターベンション戦略の構築

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	本研究は、免疫疾患の症例数および症例の多様性、免疫細胞の種類において過去の報告を大きく上回る規模の機能ゲノムデータベース「ImmuneNexUT」(Immune Cell gene expression atlas from the University of Tokyo) を構築し、さまざまな免疫疾患の発症に関わる細胞種毎の遺伝子多型と遺伝子発現量の関係を明らかにした。これは、免疫に関わるさまざまな病態のゲノム研究に応用され、病態の解明や医薬品の治療標的分子およびバイオマーカーの同定に繋がることが期待される。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.chugai-pharm.co.jp/news/detail/20210506113000_1108.html

NO.	124	社名	帝人株式会社
		プロジェクト名	フレイルの予防薬・治療薬の研究開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	2018年10月に国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)に採択された「フレイルの予防薬・治療薬の研究開発」に関する産学連携の研究開発事業。フレイルは、2014年に日本老年医学会が提唱した「加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態」を表す概念で、要介護状態に至る前段階として位置づけられているもの。健康長寿社会の実現に向けて、積極的な介入が必要と考えられている一方で、現状において有効性の確立した医療用医薬品が存在しないことから、世界初となるフレイルの予防薬・治療薬の開発に、上記の連携組織と取り組んでいる。
連携先大学等	大阪大学、東京大学
大学以外の連携組織	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)、神戸医療産業都市推進機構、国立循環器病研究センター、オリエンタル酵母工業(株)、(株)島津製作所、Meiji Seika ファルマ(株)
紹介URL	◆プレスリリース https://www.teijin.co.jp/news/2019/20190514_3053.html

NO.	125	社名	株式会社電通国際情報サービス
		プロジェクト名	エッジAIとLPWA技術の活用により、畜産農家の放牧牛管理と金融機関のABL管理を省力化

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	東京工業大学、信州大学、電通国際情報サービス、ファームノート、テクノプロ・デザイン社、ソニーグループ株式会社の共同プロジェクトチームは、東京工業大学COI『サイレントボイスとの共感』地球インクルーシブセンシング研究拠点のもと、鹿児島銀行の協力を得て、沖縄県竹富町黒島のさくら牧場にて、開発したエッジAI技術とLPWA技術による放牧牛AIモニタリングシステム「PETER（ピーター）」の動産・債権担保融資（ABL：Asset Based Lending）への適用に関する実証実験を開始した。個体を遠隔からモニタリングするPETERの活用により、持続可能な畜産経営への貢献が期待される。
連携先大学等	東京工業大学、信州大学
大学以外の連携組織	ファームノート、テクノプロ・デザイン社、ソニーグループ株式会社
紹介URL	https://www.isid.co.jp/news/release/2021/0727.html

NO.	126	社名	株式会社東邦銀行
		プロジェクト名	「東北大学発のベンチャー企業向け投資ファンド」への出資

産学連携の類型

事業の類型		研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導	<input checked="" type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input checked="" type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> 東北大学発のベンチャー企業向け投資ファンドに出資。各ファンド名は下記の通り。 ①THVP-1号投資事業有限責任組合（2015年）、②THVP-2号投資事業有限責任組合（2020年） 「THVP-2号投資事業有限責任組合」は、Society 5.0社会構築に資するロボティクス、ヘルスケア、AI・IoT等の「デジタルイノベーション」に関わる分野を戦略的投資分野としており、素材・材料、半導体デバイス、医薬などを含め新産業の礎となる先導的な技術領域を投資領域としている。 地域の成長において新産業の創出は欠かすことのできない重要なテーマであり、本ファンドへの出資を通じて地域の成長への貢献を目指すもの。
連携先大学等	東北大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	http://www.tohobank.co.jp/news/20150903_003969.html http://www.tohobank.co.jp/news/20201228_006979.html

NO.	127	社名	株式会社ニコン
		プロジェクト名	東京工業大学発のベンチャー（XTIA）への出資

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input checked="" type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	XTIA が持つ光源技術「光コム」と、ニコンの技術力、ノウハウなどを組み合わせることで、高精度な形状測定の機能を有する、これまでにない装置の開発を目指す
連携先大学等	東京工業大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.nikon.co.jp/news/2020/0221_01.htm

NO.	128	社名	西松建設株式会社
		プロジェクト名	ジオポリマーコンクリートに資する木質バイオマス燃焼灰の資源化技術の実証開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	本研究開発では、木質バイオマス燃焼灰から未燃炭素と重金属を除去する装置を連続式にすることによって装置サイズを1/10にコンパクト化して、300ton/y の製造量を有するパイロット装置を開発することにより実用可能性を検証する。さらに、パイロット装置で製造した木質バイオマス灰の改質灰を使用したジオポリマーコンクリートを用いて、室内での性能試験および暴露試験による実環境下での耐久性能評価を実施して、木質バイオマス燃焼灰の改質灰を使用したジオポリマーコンクリートの実用可能性を検証する。
連携先大学等	北九州市立大学、京都大学、九州工業大学、九州大学、島根大学
大学以外の連携組織	北九州市、(独)環境再生保全機構、(一社)木質バイオマスエネルギー協会、日本アイリッヒ(株)
紹介URL	(独)環境再生保全機構で準備中

NO.	129	社名	日揮ホールディングス株式会社/日揮株式会社
		プロジェクト名	廃コンクリートなど産業廃棄物中のカルシウム等を用いた加速炭酸塩化プロセスの研究開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	廃コンクリート等の産業廃棄物からカルシウムを抽出し、排ガス中のCO ₂ と反応させて固定化させるプロセスの実用化と普及を目指した技術開発。カルシウム分の抽出と炭酸塩化の効率を高めるため、加速炭酸塩化技術について試験・評価を実施するとともに、プロセス全体の最適化を行いながら技術を確立させ、CO ₂ 削減を図る。
連携先大学等	東北大学、成蹊大学
大学以外の連携組織	出光興産株式会社、宇部興産株式会社
紹介URL	https://www.jgc.com/jp/news/assets/pdf/20200715_1.pdf

NO.	130	社名	日揮グローバル株式会社
		プロジェクト名	海水および廃かん水を用いた有価物併産 CO ₂ 固定化技術の研究開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	海水および海水淡水化プラントの廃水である「廃かん水」に含まれるマグネシウムを原料とし、CO ₂ を炭酸マグネシウムとして固定化し、コンクリート製品の骨材などとして利用するまでの一連の技術の開発。カーボンリサイクルと同時に軟水、石膏、芒硝、食塩、塩酸、肥料といった工業製品の併産が可能であり、プロセス全体のCO ₂ 排出削減と収益性や市場規模の確保を全て満たす技術の確立を目指す。
連携先大学等	早稲田大学
大学以外の連携組織	株式会社サクラ
紹介URL	

NO.	131	社名	日揮グローバル株式会社
		プロジェクト名	新しいビジネスを創出する活動

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	両者の研究開発能力、人材等を活かし連携・協力することによって、本ビジョンの達成に向けた革新的な研究シーズを共同で発掘し、実用化を視野に入れた基礎から応用までの共同研究を企画する組織連携。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/content/000009077.pdf

NO.	132	社名	日揮ホールディングス株式会社
		プロジェクト名	繊維産業のサステナブル化に向けた共同研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	衣料品の大量生産大量廃棄が問題視されている現代社会において、繊維リサイクルがなかなか進まない背景を製造・販売・消費・廃棄というそれぞれの観点から多角的に分析し、繊維産業・資源循環に係るステークホルダーによるワークショップから取り組むべき課題の抽出を行う。抽出課題に基づき構築すべき社会システムや制度設計の提案を行うとともに、繊維産業のサステナブル化に資する民間による取り組みを検討・実行する。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	帝人株式会社
紹介URL	

NO.	133	社名	日本電気株式会社		
		プロジェクト名	NECブレインインスパイアードコンピューティング協働研究所		

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	ポストディープラーニングを実現する脳型情報処理、アーキテクチャの確立					
連携先大学等	大阪大学					
大学以外の連携組織	なし					
紹介URL	https://jpn.nec.com/press/201604/20160404_01.html					

NO.	134	社名	日本電信電話株式会社		
		プロジェクト名	ロボット農機や 5G、IOWN 関連技術による農機の圃場間自動走行と遠隔監視制御		

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input checked="" type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input checked="" type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	最先端のロボット農業技術に、第5世代移動通信方式(5G)、革新的ネットワーク技術 IOWN を実現する技術の一つである複数ネットワーク最適活用技術や高精度な測位技術等を用いて、農機完全自動走行に向け、通信や映像の途切れを防止する等、安定的で円滑な農機の広域自動走行とその遠隔監視制御を実現した。					
連携先大学等	北海道大学					
大学以外の連携組織	岩見沢市、NTT東日本、NTTドコモ					
紹介URL	https://group.ntt.jp/newsrelease/2020/11/16/201116b.html					

NO.	135	社名	日本電信電話株式会社
		プロジェクト名	光を用いたスパイキングニューラルネットワーク ～新しい脳型情報処理システムの実現をめざして～

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	縮退光パラメトリック発振器(DOPO)を用いて、神経細胞の発火信号(スパイク)を模擬する人工光ニューロンを作成することに成功。本研究で発見されたこの発火モードの自動調整機能は、同期という物理現象がまるで計算機におけるアルゴリズムのように発火頻度を動的に調整することを意味しており、発火モードの多様性が脳型情報処理に大きな影響を与えることを示唆。また、発火モードを自在に制御できる集団としてのDOPOニューロンはさらに効率の良い脳型情報処理へ応用できることが期待される。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://group.ntt.jp/newsrelease/2021/04/23/210423a.html

NO.	136	社名	日本電信電話株式会社
		プロジェクト名	京都大学におけるリアルワールドデータ事業の実施とあらたな産学連携モデルとしての新会社PRIME-R設立

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	京都大学医学部附属病院が日本医療研究開発機構(以下、AMED)の事業「臨床ゲノム情報統合データベース整備事業」において進めてきた研究成果を基に、「新医療リアルワールドデータ研究機構株式会社(PRIME-R)」を設立。電子カルテにおける抗がん剤治療に関するデータをデータベース化する「サイバーオンコロジー®」という技術を開発し、多くの医療機関と協力しわが国におけるRWD(リアルワールドデータ)を迅速かつ効果的に利活用することができる高度な管理体制を構築し、継続性のある研究基盤を共同で構築する。
連携先大学等	京都大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://group.ntt.jp/newsrelease/2020/02/03/200203a.html

NO.	137	社名	日本アイ・ビー・エム株式会社
		プロジェクト名	I B M東大ラボ

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	東京大学と International Business Machines Corporation (IBM) との間で 2019 年 12 月 19 日に締結された Memorandum of Understanding の精神に基づき、東京大学及び日本 IBM は、日本を量子コンピューティングにおけるリーダーとすべく、Japan-IBM Quantum Partnership を推進する。IBM 東大ラボは、本パートナーシップを日本の産業界、学術機関および研究機関を巻き込んだ提携事業として、量子コンピューティングに関する技術を日本国内において独自に集結させ、そのエコシステムを構築することで、量子コンピューティングのアルゴリズムおよびアプリケーションに関わる戦略的に重要な研究開発活動を振興し、日本における経済的機会を拡大することを目指す。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	別途関連する量子イノベーションイニシアティブ協議会 (https://qii.jp) J S R、ソニー、D I C、東芝、トヨタ、日立、みずほフィナンシャルグループ、住友信託銀行、三菱化学、M U F G、横河電機等
紹介 URL	https://itl.adm.u-tokyo.ac.jp/

NO.	138	社名	日本アイ・ビー・エム株式会社
		プロジェクト名	新型コロナウイルスゲノム変異解析・可視化の共同研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="radio"/>	人的交流
	<input type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="radio"/>	地域産業の生産性向上	<input type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	新型コロナウイルスの変異状況のモニタリングならびにウイルスの感染経路同定に活用できる IBM が開発した SARS-CoV2 Variant Browser システムをベースにして、ウイルスが「どういった変異を持っており」「いつどの国から流入し」「どのように感染拡大してきたのか」を迅速に把握する機能を東大医科研と IBM で共同開発し、東京大学医科学研究所のシステムにおいて運用を開始した。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	特になし
紹介 URL	https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/about/press/page_00095.html

NO. 139	社名	日本アイ・ビー・エム株式会社
	プロジェクト名	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）TIDE（Tsukuba Advanced Initiative for Diversity & Environment） - 筑波大学 & 産総研 & 日本IBMでの産学官連携女性技術者・研究者育成の取組み

産学連携の類型

事業の類型	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	○	人的交流
	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上	○	地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的な内容

プロジェクトの概要	上記3機関を共同実施機関とし、女性研究者の採用や活躍を加速するための3つの柱として、①次世代キャリア支援プログラム、②研究活動再開支援プログラム、③上位層育成プログラムを構築し実施している。同時に柱の取組を支える3つの土台として、女性研究者の(A)環境支援、(B)意識啓発、(C)研究力向上を図る。2019年以降は、3機関の優れた女性技術者・研究者を称え、互いに交流する場としてTIDE Women's Awardを実施している。
連携先大学等	筑波大学
大学以外の連携組織	産業技術総合研究所
紹介URL	TIDE Women's Award 2019の様子： https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/19375

NO. 140	社名	日本アイ・ビー・エム株式会社
	プロジェクト名	AI スーツケースプロジェクト

産学連携の類型

事業の類型	○ 研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
	研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的な内容

プロジェクトの概要	視覚障害者をナビゲートするスーツケース型ロボット「AI スーツケース」を研究開発し、その有効性を実証するとともに社会実装の方法を探るプロジェクト。ロボット技術、センシング技術などの技術を各社が持ち寄っている他、早稲田大学はヒューマンコンピュータインタラクションの観点から、関連技術の開発や評価を行っている。
連携先大学等	早稲田大学
大学以外の連携組織	AI スーツケースコンソーシアム加盟団体 清水建設、オムロン、アルプスアルパイン、盲導犬協会、日本科学未来館など
紹介URL	一般社団法人次世代移動支援技術開発コンソーシアム https://caamp.jp/ A robot suitcase could replace canes and guide dogs for blind people https://edition.cnn.com/travel/article/ai-suitcase-blind-chieko-asakawa-spc-intl/index.html

NO.	141	社名	株式会社日本総合研究所
		プロジェクト名	東京大学「量子ソフトウェア」寄付講座の設置

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	量子コンピュータによる新しい量子機械学習手法の研究や量子アプリケーションの開発を目的として、2021年6月1日～2024年5月31日（3年間）に「量子ソフトウェア」寄付講座を設置。東京大学大学院理学系研究科に設置し、同研究科に附属している「知の物理学研究センター」と協力して推進。量子コンピュータと、情報圧縮に役立つテンソルネットワークや情報抽出を行うサンプリング手法などの組み合わせによる新しい量子機械学習手法や量子アプリケーションの開発、大規模シミュレーションによる量子コンピュータの背後に潜む物理の理解、最先端知見の獲得を通じ、社会実装における課題の解決、および、量子ネイティブな専門人材育成を目的とする。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	S C S K株式会社、株式会社NTTデータ、株式会社電通国際情報サービス、日鉄ソリューションズ株式会社、株式会社三井住友フィナンシャルグループ・株式会社日本総合研究所、日本電気株式会社、日本ユニシス株式会社、富士通株式会社、blueqat 株式会社
紹介URL	https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=38914

NO.	142	社名	株式会社日本トリム
		プロジェクト名	株式会社トリムメディカルインスティテュート

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="radio"/>	教育面での連携	<input type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導	<input checked="" type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係						
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画						

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	東北大学との包括的腎臓病対策研究の共同研究で生まれた尿毒素の測定技術を利用した受託測定事業、共同研究開発した電解水透析の販売事業、機能水の研究を主な事業として、産学連携ベンチャーを2007年11月30日に設立。健康寿命延伸を目指し、予測・予防・治療の分野で大学・研究機関との共同研究成果を製品・サービスとして提供する。
連携先大学等	東北大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	http://trim-medical-i.co.jp/

NO.	143	社名	株式会社日本トリム		
		プロジェクト名	電解水素水製造用の高機能性電極の開発		

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係						
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画						

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	電解水素水を低価格、高強度、高効率に生成できる電極や作成技術の開発
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	

NO.	144	社名	株式会社日本トリム		
		プロジェクト名	電解水素水の機能性の評価に関する研究		

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係						
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画						

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	電解水素水のストレス応答機構並びに発現プロファイリング解析による機能性の評価に関する研究を行う。
連携先大学等	早稲田大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.waseda.jp/top/news/73022

NO.	145	社名	野村アセットマネジメント株式会社
		プロジェクト名	金融データサイエンス・プラットフォームの共同開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	ビッグデータ処理や人工知能といった先端技術を資産運用業務に応用するために野村アセットマネジメント株式会社（NAM）が2017年10月1日に設置した資産運用先端技術研究室「イノベーション・ラボ」と一橋ビジネススクール金融戦略・経営財務プログラム（HUB）が連携して取り組む開発研究プロジェクトで、研究代表者はHUBの横内大介准教授が務める。資産運用におけるビッグデータ分析でも、金融固有のデータに対して信頼性の高い分析を実現するために、データサイエンスの視点を活かした分析支援環境（プラットフォーム）の構築が不可欠である。本研究を通じて、NAMは信頼性・効率性・透明性が高いデータ分析支援プラットフォームを開発し、より付加価値の高い資産運用サービスの実現を目指していく。
連携先大学等	一橋大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.nomuraholdings.com/jp/news/nr/etc/20180510/nam20180510.pdf

NO.	146	社名	野村アセットマネジメント株式会社
		プロジェクト名	野村アセットマネジメント、N-Village、筑波大学によるブロックチェーン研究開発にかかる提携

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	本プロジェクトでは、ブロックチェーンの実証試験を行うためのプラットフォーム（テストベッド）を筑波大学に構築し、真にセキュアなブロックチェーン技術の研究開発を産学連携で推し進める。また、高度IT人材の育成を目的とした産学協働の教育プログラム「enPiT」へのブロックチェーンを題材にした実践的なテーマの導入、さらには、様々なビジネスサービスをブロックチェーン上で行う安全な仕組みの構築、およびブロックチェーンを活用したビジネス・スキームの検証を実施する。その具体的な応用先の一つとして、資産運用業における同技術の活用について共同研究および実証実験も行う。
連携先大学等	筑波大学
大学以外の連携組織	株式会社N-Village
紹介URL	https://www.nomuraholdings.com/jp/news/nr/holdings/20190328/20190328.pdf

NO.	147	社名	野村ホールディングス株式会社
		プロジェクト名	UTEC（東京大学エッジキャピタルパートナーズ）

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input checked="" type="radio"/>	大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	野村ホールディングスは、2004年に国立大学が法人化したことを契機に、大学を核としたイノベーションの促進や産学連携の強化を目的として設立された UTEC（東京大学エッジキャピタルパートナーズ）に対し、継続的な支援を行っている。第1号案件となった UTEC 1号投資事業有限責任組合への出資をはじめ、これまで複数回にわたり出資を行ったほか、本事業への人材派遣等を行っており、これからも継続的に大学発イノベーションの推進、サイエンスとテクノロジーを軸に社会課題の解決を目指すスタートアップ企業の育成に協力していく。
連携先大学等	東京大学、その他 UTEC が連携する国内外の大学や研究機関
大学以外の連携組織	金融機関をはじめとする機関投資家、出資先であるスタートアップ企業
紹介URL	【ホームページ】 UTEC https://www.ut-ec.co.jp/ 【ニュースリリース】 UTEC 1号投資事業有限責任組合の設立 https://www.ut-ec.co.jp/news/utec_news/utec_news-07012004

NO.	148	社名	株式会社フジクラ
		プロジェクト名	京都大学インフラ先端技術コンソーシアム

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input checked="" type="radio"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他	
行政の参画	行政も参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	インフラの維持・管理に用いられる材料、センシング技術、データに関する最新動向や最新技術を開発・共有し、様々な社会課題の解決を目指す。
連携先大学等	京都大学
大学以外の連携組織	NEXCO西日本、IHI、清水建設、大成建設、JR西日本他
紹介URL	https://citi.kuciv.kyoto-u.ac.jp/

NO.	149	社名	株式会社フジクラ
		プロジェクト名	MIT. nano コンソーシアム参加

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	ナノサイエンス及びナノエンジニアリング分野に係る先端研究
連携先大学等	米国マサチューセッツ工科大学 (MIT)
大学以外の連携組織	なし
紹介URL	https://news.mit.edu/2020/fujikura-joins-mitnano-consortium-1015 https://www.fujikura.co.jp/newsrelease/products/2062743_11541.html

NO.	150	社名	株式会社ベネッセホールディングス
		プロジェクト名	瀬戸内サステナビリティ&ウェルビーイング研究プロジェクト

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	<input checked="" type="radio"/>	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	2020年度から2022年度(3カ年)で、直島・犬島・豊島の3島を中心として、いわゆる「直島メソッド」ならびに「公益資本主義」が地域や住民の「well-being: ウェルビーイング」にもたらした変化ならびにそのメカニズムについて調査し、学術的な成果としてまとめ、発信する。 <目的> ・直島・犬島・豊島(以下3島)における過去・現在の地域課題の整理 ・3島における、いわゆる「直島メソッド」ならびに「公益資本主義」の諸活動・エコシステム・効果の分析、および地域発展モデル化 ・3島他における主観的並びに客観的ウェルビーイング指標の設計、および調査分析
連携先大学等	岡山大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://blog.benesse.ne.jp/bh/ja/news/20200923_release.pdf

NO.	151	社名	北海道電力株式会社
		プロジェクト名	再生可能エネルギー熱利用にかかるコスト低減技術開発

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携		大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画		人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
	<input checked="" type="radio"/>	地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	寒冷地において、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）・ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の実現を目指す高断熱・高気密な建物に対して導入可能な、高効率の地中熱ヒートポンプ（GSHP）システムを開発することにより、トータルで20%以上のコスト削減を目指す。
連携先大学等	北海道大学
大学以外の連携組織	エムズ・インダストリー（株）、棟晶（株）、（株）イノアック住環境、サンポット（株）：新エネルギー・産業技術総合開発機構助成事業
紹介URL	https://www.hepco.co.jp/info/2019/1248471_1803.html

NO.	152	社名	丸紅株式会社
		プロジェクト名	九州大学と丸紅との連携・協力の推進に関する基本協定書締結

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携	<input checked="" type="radio"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
		その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良		地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着		観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	既存の「医療・ヘルスケア」における提携の枠組みの拡大とともに、「新技術・新素材」、「エネルギー・環境」、「情報・不動産」等を連携分野に加え、双方が保有する人的資源、知的資源、施設、設備等を相互に活用し連携・協力を進める。九州大学の学術研究・教育活動の活性化、ならびに丸紅の提携分野における事業力の強化を図り、学術研究分野での協業を超えて、社会課題の解決に資する産学連携事業を創出、価値創造を目指す。
連携先大学等	九州大学
大学以外の連携組織	九州大学病院
紹介URL	https://www.marubeni.com/jp/news/2021/release/20210426J.pdf

NO.	153	社名	三井不動産株式会社
		プロジェクト名	三井不動産東大ラボ「経年優化する都市～after コロナを見据えたデジタル革命による次代の価値創造～」

産学連携の類型

事業の類型	<input type="radio"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input checked="" type="radio"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	「三井不動産東大ラボ」では、コロナ後の社会も見据えた多角的なアプローチを通して、「都市の新たな価値の明確化」「都市の新たな価値創造の方法論」を追求していく。さらに、施策の提言に留まらず、研究成果を社会へ還元すべくテクノロジーの社会実装を通じたイノベーション創出によって、本共同研究が掲げるビジョン「経年優化する都市」を実現していくことを目的とする。また、次代の街づくりを担う人材育成の場を設けることにも取り組む。					
連携先大学等	東京大学					
大学以外の連携組織	なし					
紹介URL	三井不動産東大ラボ HP	https://mfut-lab.ducr.u-tokyo.ac.jp/				
	三井不動産東大ラボリリース	https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2020/0727/download/20200727.pdf				

NO.	154	社名	三菱地所株式会社
		プロジェクト名	FoundX

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input checked="" type="radio"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	東京大学が運営するスタートアップ支援プログラムで、これからスタートアップを始める東京大学・大学院の卒業生・研究者向けに、起業に役立つリソースを無償で提供している。事業の成長と起業家としての成長ができる環境を提供し、有利な資金調達ができるようになるまでの道のりをサポートする。当社は東京大学に対して場所を提供するハード面の支援の他、イベントの共催などソフト面でも支援を行っている。					
連携先大学等	東京大学					
大学以外の連携組織	N/A					
紹介URL	https://foundx.jp/					

NO.	155	社名	株式会社三菱総合研究所
		プロジェクト名	再生可能エネルギー主力電源化に必要な高速調整力の実装に向けた協業

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input checked="" type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	主に以下の分野で協業を推進 1) 制度設計検討 ・欧州の事例などを踏まえて再生可能エネルギー主力電源化に必要な調整力制度設計のあるべき姿を検討し、日本での事業環境整備に貢献 2) プロジェクト開発 ・さまざまなパートナー企業と連携しながら、エクセルギー社蓄電池の特徴を活かした高速調整力プロジェクトの実装・展開を図る。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	エクセルギー・パワー・システムズ株式会社
紹介URL	https://www.mri.co.jp/news/press/20210630.html

NO.	156	社名	明治安田生命保険相互会社
		プロジェクト名	未病に関する共同研究

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政も参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	弘前大学のもつ健康ビッグデータから、健康と疾病の間の状態である未病状態の分類を行う「未病予測モデル」の開発と、当社の営業職員による効果的な健康教育のプログラムを開発する「未病教育」研究を実施。
連携先大学等	弘前大学
大学以外の連携組織	株式会社ミルテル
紹介URL	https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2018/pdf/20181207_01.pdf

NO.	157	社名	株式会社USEN-NEXT HOLDINGS		
		プロジェクト名	「帰宅を促す音楽」共同制作		

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
		その他			
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない				
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画	行政は不参画				

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	USENでは、オフィスワーカーのメンタルバランスを整えることを主眼としたオフィス向けBGM『Sound Design for OFFICE』を2013年から展開してきた。2018年12月からは、東京藝術大学と、終業する気分を促す効果のある音楽制作について共同研究を開始。共同研究では、東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科の亀川徹教授、丸井淳史准教授の協力のもと、900人のオフィスワーカーにWEB調査を行い、終業時刻における仕事のはかどり具合など、各状況の心理状態について心理測定尺度を用いて分析した。その後、調査によって得られた心理状態の指標とイメージが合致する既存楽曲をUSENの制作スタッフが選定。選定された楽曲の整合性を東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科により評価、検証した。楽曲は、研究結果を踏まえて、USENで作曲、編曲、収録を行い、2019年2月に『帰宅を促す音楽』の音源をリリース。
連携先大学等	東京藝術大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://usen.com/newsrelease/?type=info&year=2019&id=439

NO.	158	社名	株式会社リンクアンドモチベーション		
		プロジェクト名	モチベーションサイエンス研究所		

産学連携の類型

事業の類型	<input checked="" type="radio"/>	研究面での連携		教育面での連携	大学等の研究成果に関する技術移転
		研究者による技術指導		大学発ベンチャーへの参画	人的交流
	<input checked="" type="radio"/>	その他			
地域活性化との関係					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い		地域資源を活かした技術開発		地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	地域発スタートアップの創出
		地域産業の生産性向上		地域を担う人材の育成・還流・定着	観光など地域としての魅力向上
		地域ネットワークの構築・強化		その他	
行政の参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	従業員のモチベーションについては数多くの研究がなされ、それが従業員や組織のパフォーマンスに大きな影響を与えることがわかっている。しかし、従来からの雇用環境の影響をうける本邦企業には、ピラミッド型の組織を前提とした積み上げ型の評価体系が依然として残されている。そのような制度のもとでは、評価が従業員のモチベーションに与える効果は限定的であった。本研究所では、産学連携で「社会人基礎教育」と、おもに企業人の観点からの「大学教育」を接続し、統合的な視点から、モチベーション向上策とその効果に対する評価法を構成する。また、単なる評価方法にとどまることなく、あらためて産学連携での上述の教育のあり方や、教育方法、評価方法について研究する。
連携先大学等	早稲田大学
大学以外の連携組織	日立製作所、パナソニック
紹介URL	https://www.waseda.jp/inst/cro/other/2020/10/01/4988/

NO.	159	社名	アコム株式会社
		プロジェクト名	ワンデー仕事体験

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	企画立案・プレゼンテーションといったグループワークが中心。仕事体験を通じて、消費者金融の知識と社会人で必須とされる「社会人基礎力」を身に付けてもらう。
連携先大学等	昭和女子大学
大学以外の連携組織	B E R C 寄付講座
紹介URL	https://www.acom.co.jp/recruit/graduates/pages/internship/2020.html

NO.	160	社名	エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
		プロジェクト名	東京大学建築学専攻等との共同研究（終了済み）

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input type="checkbox"/>	その他				
地域活性化との関係						
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画						

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	地域における実地調査及び都市や人口動態に関するビッグデータを活用した分析を行うことにより、将来あるべき都市の姿を模索するものである。
連携先大学等	東京大学
大学以外の連携組織	新建築社
紹介URL	https://www.nttud.co.jp/news/detail/id/n20757.html

NO.	161	社名	岡谷鋼機株式会社
		プロジェクト名	名古屋大学オープンイノベーション拠点（OICX）

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input checked="" type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input checked="" type="radio"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input checked="" type="radio"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	産学連携による地域活性化並びに学生ベンチャーの支援・育成を目的として、2017年6月に名古屋大学に対し「名古屋大学オープンイノベーション拠点 OICX」開設に向けての寄付を行った。この度、本拠点開設時に引き続き、今後の運営活動費の寄付を行った。
連携先大学等	名古屋大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://www.okaya.co.jp/newsreleases/2020/801

NO.	162	社名	セブン&アイ・ホールディングス（そごう・西武）
		プロジェクト名	千葉大学生まれのジャム

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input checked="" type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input checked="" type="radio"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	千葉大学環境健康フィールド科学センターの農学研究のために栽培された果物を使って、学生による加工実習で作られたジャムを千葉大学のお取り扱い商品として販売。都市養蜂研究で千葉大学西千葉キャンパスに設置された養蜂箱から取れたはちみつを2018年9月下旬からお取り扱いしており、採取する季節により異なる味わいが好評である。教育研究の成果物である農産物資源を大切に使ったジャムをお求めやすい価格で社会に還元するという千葉大学の考えに賛同し、「学・民」連携した地域活動を継続していく。収益金の一部は千葉大学の教育研究に役立てられる。
連携先大学等	千葉大学
大学以外の連携組織	
紹介URL	https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000821.000031382.html

NO.	163	社名	株式会社フジクラ
		プロジェクト名	産学連携コンソーシアム「つくば応用超電導コンステレーションズ (Applied Superconductivity Constellations of Tsukuba (ASCOT))」

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input checked="" type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化とは特に関係ない					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input type="checkbox"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	ASCOTは以下を推進することを目的としたコンソーシアム。 1. 技術にこだわりを持つ「日本型オープンイノベーション拠点形成」 2. 高度な教育と実践的な企業研究とを一体化した超電導人材育成 3. 超電導材料、線材、デバイス、冷却並びに応用技術開発全般 4. 川上から川下の産業界と大学・公的研究機関が幅広く参加する拠点構築
連携先大学等	東京大学、京都大学、九州大学、東北大学、筑波大学、上智大学 他
大学以外の連携組織	産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、高エネルギー加速器研究機構 日立製作所、九州電力、住友重機械工業、住友電気工業、古河電気工業 他
紹介URL	https://www.tia-nano.jp/ascot/

NO.	164	社名	北海道銀行
		プロジェクト名	ものづくり系大学・四高専を対象とした企業説明会

産学連携の類型

事業の類型	<input type="checkbox"/>	研究面での連携	<input type="checkbox"/>	教育面での連携	<input type="checkbox"/>	大学等の研究成果に関する技術移転
	<input type="checkbox"/>	研究者による技術指導	<input type="checkbox"/>	大学発ベンチャーへの参画	<input type="checkbox"/>	人的交流
	<input checked="" type="radio"/>	その他				
地域活性化との関係	地域活性化に貢献すると期待					
地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした技術開発	<input type="checkbox"/>	地域資源を活かした商品・製品の開発・改良	<input type="checkbox"/>	地域発スタートアップの創出
	<input type="checkbox"/>	地域産業の生産性向上	<input checked="" type="radio"/>	地域を担う人材の育成・還流・定着	<input type="checkbox"/>	観光など地域としての魅力向上
	<input type="checkbox"/>	地域ネットワークの構築・強化	<input type="checkbox"/>	その他		
行政の参画	行政は不参画					

※当該プロジェクトに当てはまる「事業の類型」および「地域活性化に貢献すると期待される産学連携の効果・狙い」に○をつけている。

プロジェクトの具体的内容

プロジェクトの概要	道内ものづくり系大学との間で、教職員の道内企業への理解促進を図り、優秀な学生と道内企業のマッチング実現を目的とした企業説明会を開催。 道内に生産および営業拠点を置く企業が、ものづくり系大学と四高専の教職員に、自社の事業内容や人材募集について説明するとともに、教職員と意見交換する機会を創出。地元企業での採用、若者の地元定着に貢献している。 ※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、企業説明会を中止とし、道内四高専を対象とした企業と学校の情報交換会（一部オンライン）を実施。
連携先大学等	室蘭工業大学、千歳科学技術大学、北海道科学大学、北見工業大学、旭川高等専門学校、釧路高等専門学校、苫小牧高等専門学校、函館高等専門学校
大学以外の連携組織	ものづくり、食、IT関連等の企業
紹介URL	https://www.hokkaidobank.co.jp/company/pdf/localcreation.pdf

